StationTV X 取扱説明書

くわしく知りたい項目をクリックしてください。

はじめて使うとき

テレビを見る

管理する

録画する

書き出す

再生する

設定

総合目次

画面から調べる

ご使用の前に

総合目次

トップへ

ご使用の前に

本書について

本書の説明範囲 6
本書についての注意事項 6
本書の構成 7
本書で使われているマーク 7
商標 7

デジタル放送について

デジタル放送の種類 8
デジタル放送でできること 8
地上デジタル放送の受信 8

使用上のご注意

パソコンについて 9
放送局や番組について 9
視聴･再生について 9
録画･予約について 10
書き出しについて 10

はじめて使うとき

パソコンの準備

受信・通信の準備をする 12

StationTV X の起動

スタートメニューから起動する 13
ショートカットアイコンから起動する 13
待機モードから起動する 13
WindowsMediaCenter から起動する 14

初回設定

初回設定を行う 15

テレビが映らないとき

チャンネルリストに何も表示されない 17
チャンネルリストに表示されているのに映らない . . . 17

メニューの操作

メニューを表示する 18
項目を選んで実行する 18

待機モードについて

待機モードとは？ 19
待機モードに切り換える 19
タスクトレイのアイコンについて 19

StationTV X の終了

タスクトレイのアイコンから終了する 20

ショートカットキー

ショートカットキー一覧 21

テレビを見るときの基本操作

放送波を切り換える 23
チャンネルを切り換える 23
音量を調節する 23
チャンネル情報を確認する 24
番組の詳細情報を見る 24

映像表示の切換

画面表示を切り換える 25
表示方法を切り換える（ズーム切換） 26
番組内の映像を切り換える 26

音声出力の切換

番組内の音声を切り換える 27
出力形式を切り換える 27
AAC 音声出力の注意点 27
サラウンド放送をステレオ放送に切り換える 28

字幕の表示

字幕を表示する 29
常に字幕を表示する 29
字幕の種類や言語を切り換える 29

データ放送

データ放送を見る 30
マウスで操作するとき 30
データ放送利用時の注意点 30
録画の設定を変更する 31
地域の設定を変更する 31
表示の設定を変更する 31

視聴時に便利な機能

年齢制限を設定する（ペアレンタルコントロール） . . . 32

総合目次

トップへ

番組表を使う

番組表の基本操作

番組表を表示する 34
番組表が表示されないとき 34
番組表内での操作一覧 35
時間帯を変更する 35
放送波・放送局を変更する 35
日付を変更する 36
番組の詳細情報を表示する 36

番組表の便利な機能

選択した番組を今すぐ見る 37
選択した番組を録画予約する 37
表示を拡大／縮小する 37
番組を検索する 38
お好みのチャンネルだけを表示する 38

録画する

録画

見ている番組を録画する 40
録画オフタイマーを設定する 40
録画時の注意点 40

予約

番組を指定して予約する(番組表予約) 41
予約時の注意点 42
番組表から予約を取り消す・編集する 43
予約一覧から予約を取り消す・編集する 44

画質·保存先の設定

画質を変更する 45
保存先と最初に使用するドライブを選ぶ 45
外付けのハードディスクに保存する 45

録画·予約時に便利な機能

2 番組を同時に録画する(ダブル録画) 46
ポータブルプレーヤー用として録画する 46
予約を検索する 47

番組が遅延·重複したとき

予約番組が遅延したとき 48
予約が重複したとき 48
重複の具体例と優先度 48

再生する

再生の基本操作

録画した番組を再生する 50
前回の続きから再生する(つづき再生) 50
番組を最初から再生する 50
再生中の操作一覧 51

再生時に便利な機能

ゆったり再生・早見再生 52
録画中の番組を再生する(追いかけ再生) 52
再生停止時の動作 52

管理する

録画番組の検索

該当項目で検索する 54

録画番組の管理

録画番組を削除する 55
録画番組を保護する 55
保護を解除する 55
「バックアップと復元」機能を使用した場合 56
録画番組情報を復元する(録画情報管理ツール) 56

書き出す

書き出しの前に確認しよう

書き出しに必要な条件 58
コピー制限 58
対応メディア 59
書き出すときの画質と容量のめやす 60
.....60

書き出し

録画番組を書き出す 61
書き出しをキャンセルする 62

設定

かんたん設定

かんたん設定 64

テレビ設定

地域 / チャンネルスキャン 65
チューナー / アンテナ 65
リモコンボタン割り当て 65

視聴設定

字幕 66
文字スーパー 66
音声出力 66
映像表示 67

録画・再生設定

再生 68
保存先ドライブ 68
録画 69

トップへ

総合目次

設定（つづき）

データ放送設定

視聴地域 70
自動取得 / 表示 70

詳細設定

受信機 71
視聴制限 71
番組表 71
通信 72

お知らせ

放送メール 73
CS ボード 73
受信機メッセージ 73

情報

B-CAS カード 74
バージョン 74

設定初期化

設定初期化 75

画面から調べる

視聴画面

映像パネル 77
メニューパネル 78
番組詳細情報 79

番組表画面

番組表 80
番組詳細情報／録画予約 81
メニューパネル(番組表) 82
番組検索 83
メニューパネル(番組検索) 84

予約一覧画面

予約一覧 85
検索パネル 86
番組詳細情報 87
メニューパネル 88

録画番組一覧画面

録画番組一覧 89
検索パネル 90
詳細情報表示 91
メニューパネル 92
書き出し 93

再生画面

映像パネル 94
コントロールパネル 95
詳細情報表示 96

ご使用の前に

これだけは知っておこう

本書について P.6 ～

本書は共通取扱説明書のため、機種によっては使用できない機能が記載されています。お使いの機種で利用できる機能について覚えておきましょう。

デジタル放送について P.8 ～

デジタル放送の種類やできること、受信するために必要な条件について説明します。

目次

本書について

本書の説明範囲 6
本書についての注意事項 6
本書の構成 7
本書で使われているマーク 7
商標 7

デジタル放送について

デジタル放送の種類 8
デジタル放送でできること 8
地上デジタル放送の受信 8

使用上のご注意

パソコンについて 9
放送局や番組について 9
視聴･再生について 9
録画･予約について 10
書き出しについて 10

本書について

本書の説明範囲

本書は下表のすべての機種に共通した取扱説明書です。

対象機種

機種	受信できる放送波	テレビチューナーの数
地上デジタル放送専用 シングルチューナーモデル	地 DIGITAL	1 基
地上デジタル放送専用 ダブルチューナーモデル	地 DIGITAL	2 基
地上 /BS/110 度 CS デジタル放送対応 シングルチューナーモデル	地 DIGITAL / BS DIGITAL / 110 CS DIGITAL	1 基
地上 /BS/110 度 CS デジタル放送対応 ダブルチューナーモデル	地 DIGITAL / BS DIGITAL / 110 CS DIGITAL	2 基

デジタル放送の種類　P.8

※テレビチューナーとは、テレビ放送の受信や録画を行う部品のことです。

※お使いの機種がどれにあたるかはパソコンまたはキャプチャーボードの取扱説明書を参照してください。

機種によっては、本書に記載されている機能をご使用できない場合があるので注意してください。

機種による機能制限

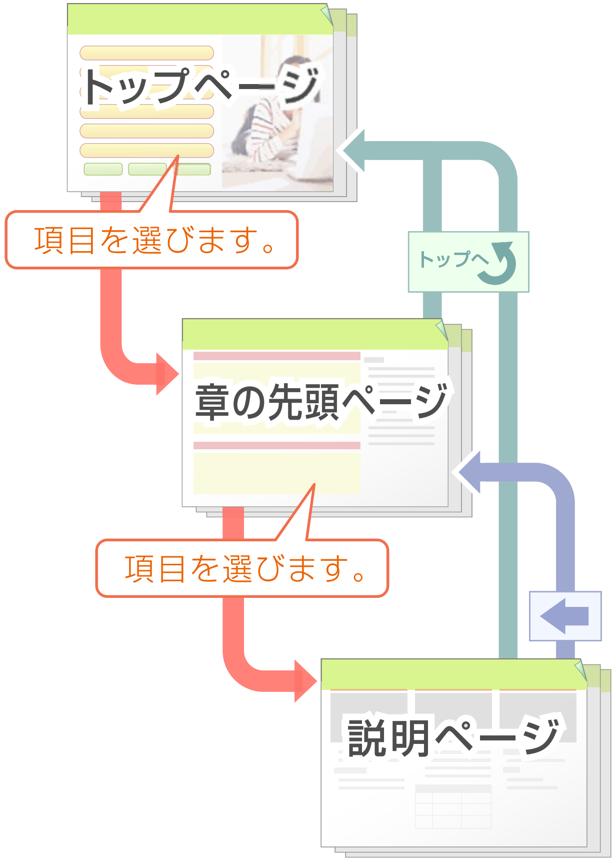
機種	BS デジタル放送の受信	110 度 CS デジタル放送の受信	裏番組の録画	ダブル録画
地上デジタル放送専用 シングルチューナーモデル	×	×	×	×
地上デジタル放送専用 ダブルチューナーモデル	×	×	○	○
地上 /BS/110 度 CS デジタル放送対応 シングルチューナーモデル	○	○	×	×
地上 /BS/110 度 CS デジタル放送対応 ダブルチューナーモデル	○	○	○	○

※上記の機能以外にも、設定画面や項目が機種によって異なる場合があります。

本書についての注意事項

- 本書の説明はリモコンでの操作を中心に説明しています。マウスで操作する場合は、説明画面上でマークされているボタンや項目をクリックしてください。
- 本書のブルーレイディスクに関する記載は、ブルーレイディスク対応ドライブを搭載している場合のみご利用できます。
- 本書では「リモコン優先表示」(P.77)の画面で操作手順を説明しています。マウスやキーボードの操作とは手順が異なる部分があります。
- パソコンの環境によっては、本書に記載されていても表示されない、または、操作できない項目があります。
- 本書で使用しているアプリケーションの画面は製品開発中のものであり、実際とは異なる場合があります。また、はめ込み合成の場合もあります。
- Windows の基本的な操作については記載していません。StationTV X の操作は Windows の一般的な操作に準拠しています。
- 本書の記載は、ディスプレイ独立型のパソコンを前提としています。ディスプレイ一体型のパソコンをご利用の場合、該当しない記載が一部あります。
- 本書の内容に関しては、将来予告なしに変更することがあります。
- 本書の内容の一部およびすべてを無断で転載することは禁じられています。

本書の構成



本書は PDF 形式の取扱説明書です。表示方法やページの移動は Adobe Reader の操作方法に準拠しています。

トップページから調べたい項目クリックしていくことで、対象の説明ページを開くことができます。また、ページ右上のアイコンをクリックすると、トップページまたは章の先頭ページに戻ります。もちろん、先頭から 1 ページずつめくることもできます。

本書で使われているマーク

本書で使われているマークは以下の意味を示しています。

マーク	意味
(トップへ戻る矢印)	クリックするとトップページに戻ります。
(左向き矢印)	クリックすると章の先頭ページに戻ります。
(注意マーク)	気を付けていただきたい内容について記述しています。
(笑顔マーク)	参考にしていただきたい内容について記述しています。

商標

- Windows は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。
- Windows の正式名称は、Microsoft Windows Operating System です。
- SD メモリーカードは、パナソニック株式会社、サンディスク社、株式会社東芝の商標です。
- SDHC、SD、microSDHC、microSD ロゴは SD-3C,LLC の商標です。
- " ウォークマン "、"WALKMAN"、"Memory Stick"、" メモリースティック PRO デュオ "、" メモリースティック PRO-HG デュオ "、" メモリースティック マイクロ(M2)" は、ソニー株式会社の登録商標および商標です。
- " プレイステーション "、"PSP"、"PlayStation Portable" は株式会社ソニー・コンピュータエンタテインメントの登録商標および商標です。
- ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。Dolby、ドルビー及びダブル D 記号はドルビーラボラトリーズの商標です。
- "AVCREC" および "AVCREC" マーク は商標です。
- その他、記載されている各種名称、会社名、商品名などは各社の商標もしくは登録商標です。
- 本書では ® および ™ などの商標マークは省略しています。

デジタル放送について

トップへ
「ご使用の前に」に戻る

デジタル放送の種類

デジタル放送とは、電波がデジタルデータで送信されている放送のことです。

以下の 3 種類の放送波があります。

放送の種類	概要
地上デジタル放送	地上の無線局を通じて送信されるデジタル放送です。2011 年 7 月 24 日に従来のアナログ放送が終了し、地上デジタル放送に代わることが予定されています。 ※受信するためには、右記「地上デジタル放送の受信」の条件が必要です。
BS デジタル放送	放送衛星(Broadcast Satellite)を使ったデジタル放送です。StationTV X で受信する場合は、対応のパラボラアンテナが必要です。 ※地上デジタル放送専用機種をお使いの場合は受信できません。
110 度 CS デジタル放送	通信衛星 (Communication Satellite) を使ったデジタル放送です。 StationTV X で受信する場合は、専用のチューナー、パラボラアンテナ、および放送事業者との受信契約が必要です。 ※地上デジタル放送専用機種をお使いの場合は受信できません。

※本書では特に指定のない限り、上記の 3 放送波を「デジタル放送」と表記します。

デジタル放送でできること

デジタル放送は従来のアナログ放送に比べて、高画質な映像を再現できるほか、電子番組表やデータ放送など、多彩なサービスを利用できます。

■ デジタルハイビジョン

デジタルならではの高画質・高音質で番組を楽しめます。

■ 電子番組表

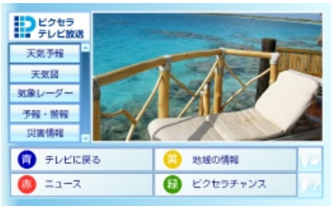
放送波の中に番組表情報が含まれています。当日から 7 日先までの番組表を画面上で確認できます。

■ 字幕表示

字幕表示に対応している番組で表示することができます。

■ データ放送

天気予報などの生活に役立つ情報や番組に連動したコンテンツを楽しむことができます。



■ マルチ編成

1 つの放送局に最大 3 つのチャンネルが用意されています。3 つのチャンネルで異なる番組が放送されるときもあります。

地上デジタル放送の受信

地上デジタル放送を受信する場合は、以下の 2 つの条件が必要です。

■ 地上デジタル放送のエリア内であること

地上デジタル放送が受信できる場所であるかは、デジタル放送推進協会のホームページ等で確認できます。

【デジタル放送推進協会(Dpa) ホームページ】
http://www.dpa.or.jp/

【総務省地上デジタルテレビジョン放送受信相談センター】
0570-07-0101
(平日：9:00 ～ 21:00　土日祝：9:00 ～ 18:00)

■ UHF アンテナを設置していること

地上デジタル放送は UHF アンテナで受信します。ご自宅のアンテナが UHF の受信に対応していることを確認してください。

※ UHF アンテナを使用している場合でも、アンテナの向きによっては地上デジタル放送を受信できない場合があります。

※ケーブルテレビの放送波をご利用の場合、UHF アンテナは不要です。ただし、ケーブルテレビの放送方式がパススルー方式の場合のみ受信できます。

使用上のご注意

パソコンについて

■B-CAS カードがないと受信できません

B-CAS カードとはデジタル放送を見るために必要な IC カードのことです。デジタル放送は著作権保護のため、放送信号が暗号化されており、B-CAS カードで暗号を解除して映像を表示します。B-CAS カードがなかったり、破損や汚損で使用できない状態になると、放送を受信できなくなります。

■HDCP に対応したディスプレイが必要です

デジタル放送を見るには、HDCP という著作権保護技術に対応したディスプレイを接続する必要があります。

※ お使いのディスプレイが HDCP に対応しているかどうかは、ディスプレイまたはパソコンの取扱説明書を参照してください。

※ お使いのディスプレイが HDCP に対応していない場合は、アナログ RGB 出力に設定する(P.67) ことで映像を出力できます。この場合、接続にはアナログ RGB ケーブルをご利用ください。なお、アナログ RGB 出力では、映像は 52 万画素以下に制限されます。

■複数のユーザで同時に使用することはできません

StationTV X の使用中に、他のユーザーアカウントで起動して同時に使用することはできません。

■StationTV X を起動できない場合があります

- ユーザーアカウントが管理者または制限なしの場合のみ起動できます。
- 他のユーザーが StationTV X を使用しているときは起動できません。
- リモートデスクトップからの起動はできません。

■映像を表示できない場合があります

- マルチディスプレイで使用する場合、クローン接続しているディスプレイに映像は表示されません。
- マルチディスプレイで使用する場合、HDCP に対応していないディスプレイに映像は表示されません。
- 解像度が 1024 × 576 ピクセル未満のディスプレイはサポートしていません。

■Vista 環境でデジタル音声を出力するには

- 映像・音声出力が統合されたグラフィックスを搭載した環境を使用してください。

■Windows がスリープや休止状態に移行しないときがあります

- StationTV X が受信中(放送・番組情報)、録画中、再生中、書き出し中のときは、タイマーによるスリープへの移行は実行されません。

■プリントスクリーン機能は使えなくなります

StationTV X の視聴画面が表示されている間は、プリントスクリーン機能は使用できません。

放送局や番組について

■放送局の周波数が変更されるときがあります

デジタル放送の放送波には、放送局の周波数や番組情報などの更新情報が含まれており、StationTV X が待機モード(P.19)のときに、これらの情報を確認し、必要に応じて現在の情報を更新します。

初期設定では、放送局の周波数が変更された場合、変更後の周波数で自動的に受信できるようになっています(P.71)。また、周波数変更の情報は、「受信機メッセージ」(P.73)で確認することができます。

■視聴中の番組がイベントリレーされるときはメッセージが表示されます

イベントリレーとは、番組の放送時間が延長された場合などに、それ以降の番組スケジュールを変更しないように、延長番組を他のチャンネルに切り換えて続けるデジタル放送特有のサービスです。視聴中の番組がイベントリレーされるときは、チャンネルを切り換えて視聴を続けるかどうかのメッセージが表示されます。

■荒天時は BS デジタル放送の映像が乱れる場合があります

BS デジタル放送では、悪天候などによって映像や音声が乱れることがあります。この場合、StationTV X が受信強度に応じてモードを自動調節しますが、画質が低下したり、映像の表示が通常時と異なる場合があります。また、モードが切り換わるときはメッセージが表示されます。

視聴・再生について

■視聴・再生中はスクリーンセーバーが起動しません

StationTV X の視聴画面が表示されている間は、スクリーンセーバーは起動しません。

録画・予約について

録画できない番組があります

コピー不可の番組や、有料放送で視聴契約を結んでいない番組は、録画できません。また、これらの番組を予約しようとした場合、エラーメッセージが表示されて登録できません。

録画できるハードディスクの空き領域と番組数には限りがあります

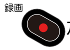
以下のいずれかの場合、録画できなくなります。

- 保存先のハードディスク空き領域が 5GB を下回った場合（リリーフ録画設定時を除く）
- 録画番組数が 7500 件を超えたとき

録画の方法によってはイベントリレーに追従しない場合があります

イベントリレーとは、番組の放送時間が延長された場合などに、それ以降の番組スケジュールを変更しないように、延長番組を他のチャンネルに切り換えて続けるデジタル放送特有のサービスです。

以下の方法で録画しているときは、イベントリレーに追従しません。

- 

ボタンで録画を開始したとき（オフタイマー設定なし）

ユーザーアカウントの設定を自動ログインにしておくことをおすすめします

予約録画が開始されるときは、パソコンが予約を登録したときのユーザーアカウントでログインされている必要があります。スクリーンセーバーやスリープ状態からの復帰時にパスワードを求める設定にしている場合、パスワードが入力されないと予約録画が実行されません。

録画中はスリープや休止状態に移行させないでください

録画中にスリープや休止状態に移行させると、実行中の録画が中断され、失敗するおそれがあります。

書き出しについて

CPRM 対応のドライブと DVD ディスクを使ってください

デジタル放送の番組は著作権保護のため、映像が暗号化されて送信されています。録画番組を DVD ディスクに書き出すときは、CPRM というコピー制御方式に対応したドライブとディスクが必要になります。

※ CPRM(Content Protection for Recordable Media) とは、著作権を保護するために映像素材を暗号化する技術です。

AACS キーについて

ブルーレイディスクには、著作権保護のため、AACS というコンテンツ保護技術が採用されています。この技術によって暗号化されたデータを読み取るために、AACS キーが必要になります。

StationTV X には AACS キーが搭載されていますが、AACS キーの有効期限が切れている場合は、ディスクへの書き出し時に自動的に更新します（インターネット接続が必要です）。また、一定期間を経過すると、更新が有料となり、購入サイトへの案内メッセージが表示されます。

録画番組の書き出しが中断された場合

録画番組を書き出すときは、キャンセルしたり書き出しに失敗した場合でも、書き出し可能回数が 1 回減ります。ただし、SD カードへの書き出しの場合を除きます。

書き出し中はスリープや休止状態に移行させないでください

書き出し中にスリープや休止状態に移行させると、書き出し処理が中断され、失敗するおそれがあります。

外付けハードディスクへの保存について

録画番組を外付けのハードディスクに保存する場合は、ファイルシステムが NTFS のものを使用してください。また、使用するハードディスクの転送速度が不足しているなどの場合、完全に録画できない場合があります。

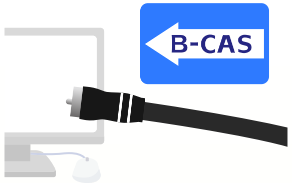
はじめて使うとき

くわしく知りたい項目をクリックすると、説明ページにジャンプします。

テレビを見るまでの流れ

パソコンの準備

P.12 ～



B-CAS カードやアンテナケーブルをパソコンに接続します。

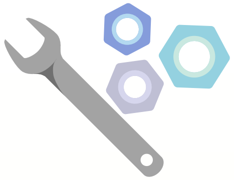
StationTV X を起動する

P.13 ～

StationTV X を起動します。

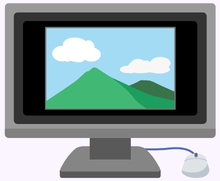
初回設定

P.15 ～



はじめて起動したときは、自動的に初回設定画面が表示されます。画面の指示にしたがって設定を行います。

完了



デジタル放送の映像が表示されます。

※ 表示されない場合は「テレビが映らないとき」P.17をお読みください。

これだけは知っておこう

メニューの操作　P.18 ～

StationTV X では、予約や録画の管理・設定などを「メニュー」と呼ばれる操作パネルから行います。StationTV X を利用するうえで、かならず操作する機能なので覚えておいてください。

待機モードについて　P.19 ～

録画予約をすると、StationTV X を起動しておかなければなりません。でも、テレビを見ないときは映像や音声は必要ありませんよね？そんな時に使うのが待機モードです。

目次

パソコンの準備

受信・通信の準備をする 12

StationTV X の起動

スタートメニューから起動する 13
ショートカットアイコンから起動する 13
待機モードから起動する 13
WindowsMediaCenter から起動する 14

初回設定

初回設定を行う 15

テレビが映らないとき

チャンネルリストに何も表示されない 17
チャンネルリストに表示されているのに映らない 17

メニューの操作

メニューを表示する 18
項目を選んで実行する 18

待機モードについて

待機モードとは？ 19
待機モードに切り換える 19
タスクトレイのアイコンについて 19

StationTV X の終了

タスクトレイのアイコンから終了する 20

ショートカットキー

ショートカットキー一覧 21

パソコンの準備

StationTV X でテレビを見るには、パソコンにアンテナ線を接続するなどの準備が必要です。
お使いになる前に、かならず以下の準備を完了してください。

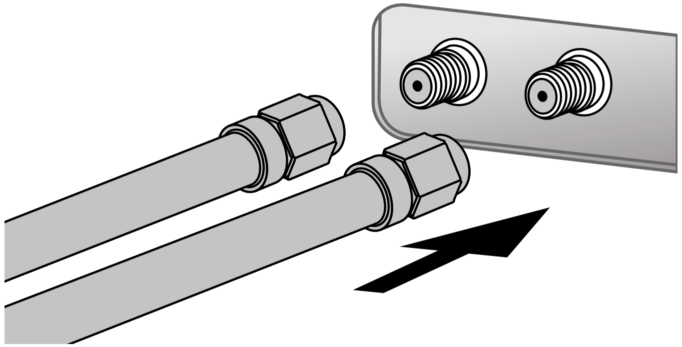
受信・通信の準備をする

① B-CAS カードを専用スロットに挿入します。

※機種によって挿入方向が異なります。

B-CAS カードとは？

B-CAS カードとはデジタル放送を見るために必要な IC カードのことです。デジタル放送は著作権保護のため、放送信号が暗号化されており、B-CAS カードで暗号を解除して映像を表示します。紛失や破損・汚損しないよう注意してください。



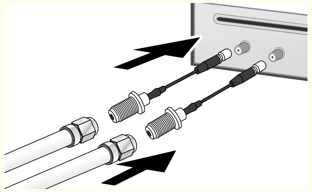
② アンテナ線を接続します。

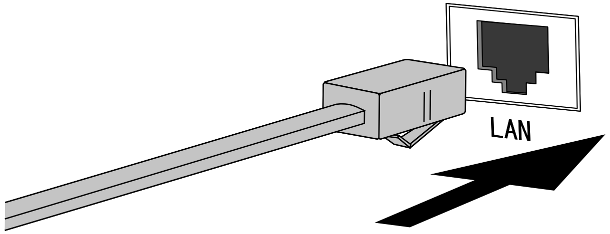
※アンテナ線は F 型コネクタが付いたものを使用してください。

※アンテナの種類や端子の位置、接続方法はパソコン本体の取扱説明書を参照してください。

変換ケーブルが付属している機種

変換ケーブルが付属している機種では、下図のようにパソコンのアンテナ端子・変換ケーブル・アンテナ線を接続してください。





③ インターネット用の LAN ケーブルを接続します。

※ご使用のパソコンがすでにインターネットに接続している場合、この手順は不要です。

※書き出し機能や双方向サービスを利用しない場合、この手順は不要です。

双方向サービスとは？

インターネットを利用して、視聴者から放送局に対してデータを送信できるサービスのことです。たとえば、番組内でクイズやアンケートへの回答をなどができます。StationTV X では、データ放送の中で利用します。

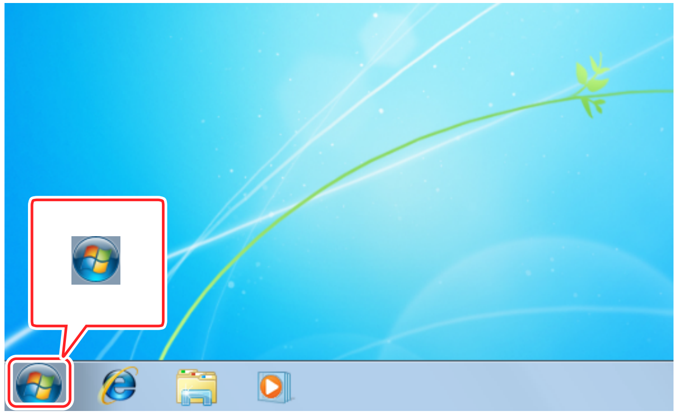
データ放送　P.30

➡パソコンの準備が完了したら、次のページに進んでください。

StationTV X の起動

StationTV X の起動方法は 4 つあります。いずれかの方法で起動してください。

スタートメニューから起動する



マウス操作

① [スタート] メニューをクリックします。

② 以下の項目を選択します。

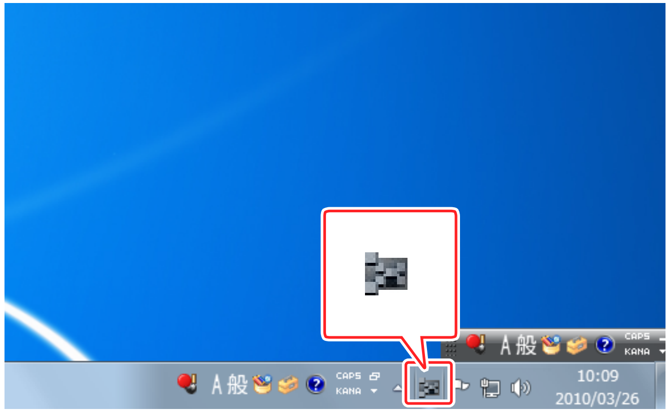
すべてのプログラム
▼
PIXELA
▼
StationTV X
▼
StationTV X

ショートカットアイコンから起動する

マウス操作

デスクトップのショートカットアイコンをダブルクリックします。

待機モードから起動する



※この起動方法は、StationTV X が待機モードのときだけ有効です。

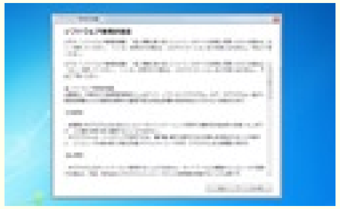
待機モード　P.19

マウス操作

タスクトレイのアイコンを右クリックして、[視聴画面] を選択します。

はじめて起動するとき

StationTV X をはじめて起動するときは、管理者のユーザーアカウントで起動してください。また、はじめて起動したときは使用許諾契約書の画面が表示されます。内容を確認のうえ、[同意する] をクリックしてください。



WindowsMediaCenter から起動する

① を押します。

➡WindowsMediaCenter が表示されます。

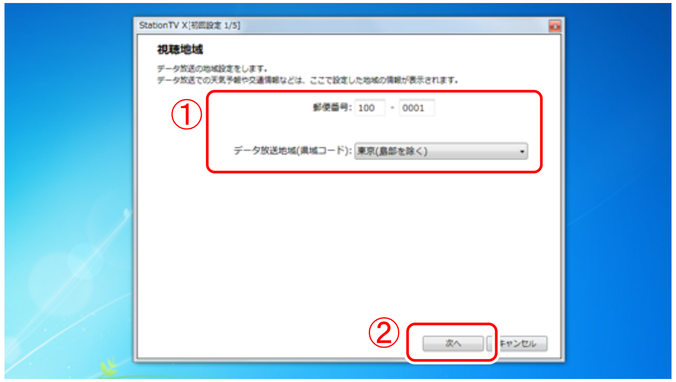
① を上下に押して、[StationTV X] に移動します。

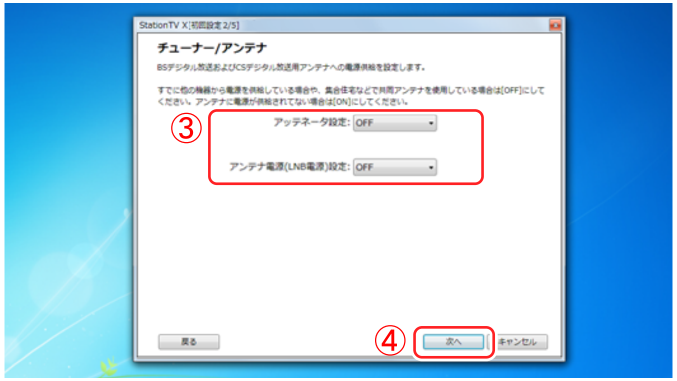
③ OK を押します。

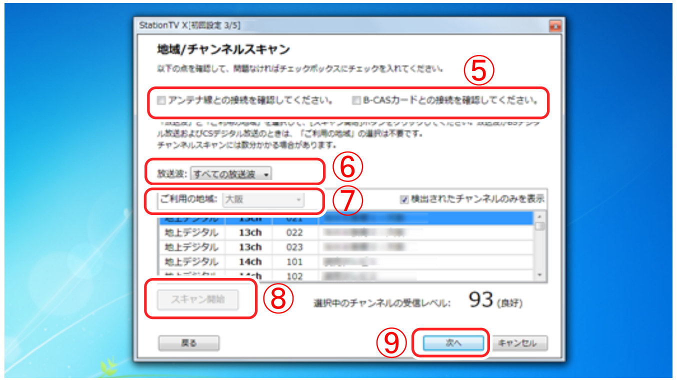
初回設定

はじめて StationTV X を起動すると、初回設定画面が表示されます。
画面の指示にしたがって操作するだけで、デジタル放送が受信できるようになります。

初回設定を行う







マウス操作

初回設定はマウスで操作します。

① お住まいの地域の郵便番号と地域を設定します。

※あとで設定を変更できます。

視聴設定　P.70

② [次へ] をクリックします。

③ アッテネータとアンテナ電源の設定をします。

※お使いの機種によっては表示されない場合があります。

チューナー / アンテナ　P.65

④ [次へ] をクリックします。

⑤ アンテナ線の接続と B-CAS カードの接続を確認して、チェックを入れてください。

⑥ チャンネルスキャンをする放送波を選択します。

⑦ 地域を選びます。

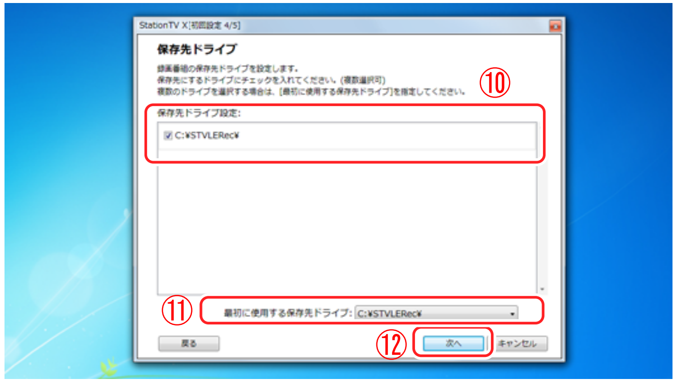
⑧ [スキャン開始] をクリックします。

➡選択した放送波のチャンネルスキャンが開始されます。
スキャンには時間がかかる場合があります。

⑨ [次へ] をクリックします。

※チャンネルスキャンが完了すると、クリックできるようになります。

※チャンネルが表示されない場合は、P.17「テレビが映らないとき」を参照してください。

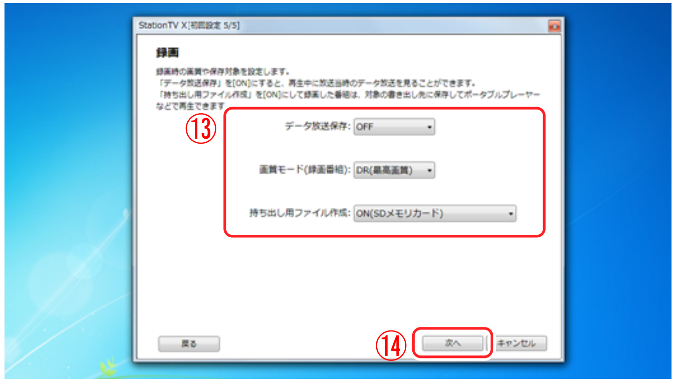


⑩ 録画番組の保存先にするドライブにチェックを入れます。

⑪ 最初に使用するドライブを選択します。

最初に使用するドライブがいっぱいになると、自動的に手順⑩で選んだ別のドライブに保存されます。

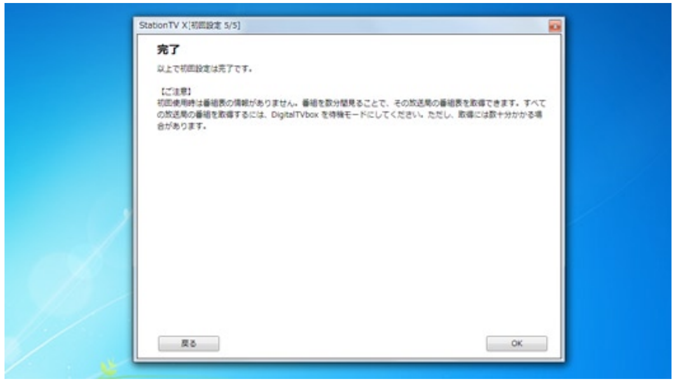
⑫ [次へ] をクリックします。



⑬ [データ放送保存]、[画質モード(録画番組)]、[持ち出し用ファイル作成] の設定をします。

録画設定　P.69

⑭ [次へ] をクリックします。



上図の画面が表示されたら初回設定は完了です。

画面が表示されない場合や、画面が表示されてもテレビの映像が出ない場合は、次のページを参照してください。

もう一度初回設定を行う

StationTV X の画面は表示されても映像が出ない場合などで、もう一度設定をやり直したいときは、視聴画面上の [メニュー] をクリックして、以下の項目を選んでください。

設定
▼
かんたん設定

設定初期化　P.75
かんたん設定　P.64

テレビが映らないとき

初回設定後にテレビの映像が表示されないときは以下の点を確認して、もう一度設定しなおしてください。

トップへ
「はじめて使うとき」に戻る

チャンネルリストに何も表示されない

■お住まいの地域で地上デジタル放送が開始されていますか？

地上デジタル放送が受信できる場所であるかは、デジタル放送推進協会のホームページ等で確認できます。

【デジタル放送推進協会（Dpa）ホームページ】
http://www.dpa.or.jp/

【総務省地上デジタルテレビジョン放送受信相談センター】
0570-07-0101
（平日：9:00 ～ 21:00　土日祝：9:00 ～ 18:00）

■UHF アンテナを使用していますか？

地上デジタル放送を見るには、UHF アンテナが必要です。（ケーブルテレビの場合を除く）

地上デジタル放送の受信　P.8

■ケーブルテレビをお使いの場合、配信方式はパススルーですか？

配信方式が不明な場合は、ご利用のケーブルテレビ会社にお問い合わせください。

■受信レベルは 60 以上ありますか？

受信レベルが 60 未満の場合は、アンテナの受信感度が低いことが考えられます。アンテナの向きの調整やブースター（増幅器）の設置などをご検討ください。

地域 / チャンネルスキャン　P.65

また、受信強度が強すぎるときも映らない場合があります。受信レベルが 60 以上あるのに映らないときは、アッテネータ設定を ON にしてください。

チューナー / アンテナ　P.65

■アンテナ線は正しく接続されていますか？

アンテナ線が確実に接続されているか確認してください。また、ケーブルの中の芯線が折れたり曲がったりしていないか確認してください。

アンテナ線の接続を確認したあと、チャンネルスキャンを再度行ってください。

■壁側のアンテナ端子とパソコン側のアンテナ端子に間違いはありませんか？

地上デジタル用のアンテナ線と CS/CS デジタル用のアンテナ線を、それぞれのアンテナ端子に取り違えることなく接続していることを確認してください。

アンテナ線の接続を確認したあと、チャンネルスキャンを再度行ってください。

■チャンネルスキャンは正常に行われましたか？

スキャンできない場合は、電波の受信状態に問題があります。受信環境やアンテナ線の接続を確認してください。

地域 / チャンネルスキャン　P.65

■アンテナの電源設定は正しいですか？

BS デジタル／ 110 度 CS デジタル放送が映らない場合、アンテナ電源の設定を [オン] にしてみてください。

アンテナ電源設定　P.65

チャンネルリストに表示されているのに映らない

■B-CAS カードは正しい方向で挿入されていますか？

機種によって挿入方向が異なります。パソコンの取扱説明書や本機のスタートアップガイドを参照してください。

■B-CAS カードに破損、曲がり、汚れはないですか？

カードの読み取り部分に破損、曲がり、汚れのある場合は受信できない場合があります。このような場合は、下記ホームページで確認してください。

ビーエス・コンディショナルアクセスシステムズ
http://www.b-cas.co.jp/

■対応ディスプレイを使用していますか？

StationTV X がプリインストールされている機種では、付属のディスプレイ以外を使用すると、テレビが映らない場合があります。付属のディスプレイ以外を使用する場合は、HDCP 対応のものを使用してください。

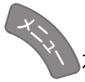
パソコンについて（使用上のご注意）　P.9

トップへ
「はじめて使うとき」に戻る

メニューの操作

StationTV X では、予約や録画の管理・設定などを「メニュー」と呼ばれる操作パネルから行います。
StationTV X を利用するうえで、かならず使う操作なので覚えておいてください。

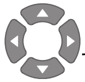
メニューを表示する



を押します。

※メニューを消すときはもう一度押します。

項目を選んで実行する

①  で選択したい項目に移動します。

項目の中にさらに選択項目がある場合は、左右を押して、子項目を開きます。子項目は上下で選択します。

②

を押します。

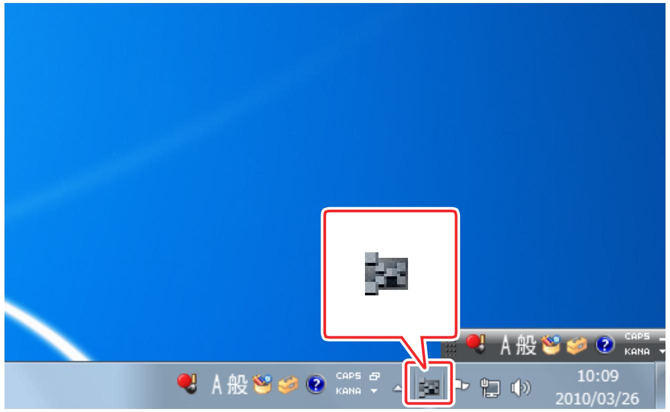
➡選択した項目が実行されます。

マウスで操作する場合は、[メニュー] をクリックするとメニューが表示されます。
選択や実行は、対象のボタンや項目をクリックします。

待機モードについて

StationTV X を起動した状態で、映像や音声の出力を停止することができます。
映像や音声が出力されなくても、録画や録画予約は実行されます。

待機モードとは？



待機モードとは、StationTV X が起動していても、映像や音声が出力していない状態のことをいいます。待機モードのときは、StationTV X がタスクトレイに格納されます。

待機モードの利用例

完全に終了すると予約録画ができなくなりますので、視聴しない場合は待機モードにしておくと便利です。

待機モードに切り換える

マウス操作

［メニュー］パネルの［待機モードへ］をクリックします。

メニューの操作　P.18

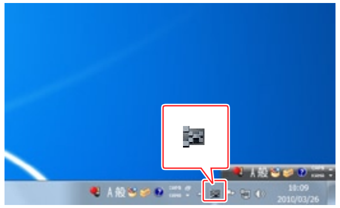
➡映像・音声の出力が停止され、StationTV X がタスクトレイに格納されます。

タスクトレイのアイコンについて

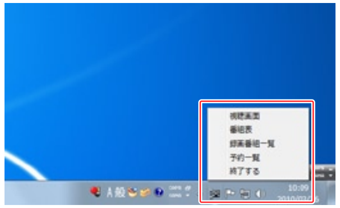
タスクトレイのアイコンはStationTV Xの状態によって表示が変化します。

アイコン	状態
	StationTV X が以下のいずれかの状態にあることを示します。 • 録画中 • 書き出し中 このアイコンが表示されているときは StationTV X を終了することができません。
	StationTV X が以下のいずれかの状態にあることを示します。 • 各画面表示中（視聴・再生時など） • 番組表情報取得中 • お知らせ受信中
	StationTV X が待機モードであることを示します。

タスクトレイのアイコンをダブルクリックすると、視聴画面が表示され、映像・音声の出力が開始されます。



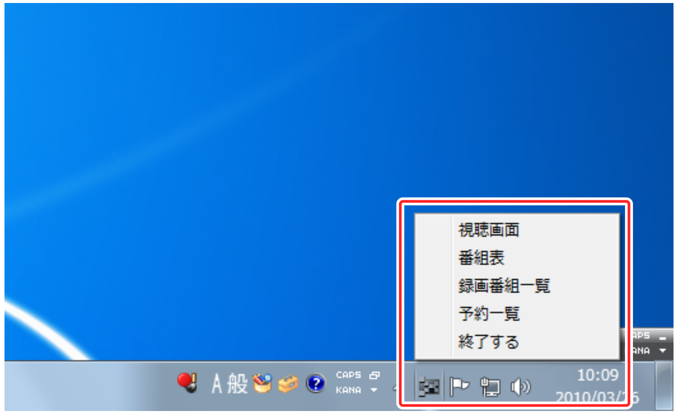
また、タスクトレイを右クリックすることで、番組表や録画番組一覧画面などを表示することができます。



StationTV X の終了

StationTV X を終了すると、録画予約や番組表情報の取得が実行されません。録画予約がある状態で、StationTV X を使用しないときは、待機モード(P.19) にしてください。

タスクトレイのアイコンから終了する



マウス操作

タスクトレイのアイコンを右クリックして [終了する] を選択します。

※ 書き出し中と録画中、予約録画が開始される 15 分以内は終了できません。

終了すると、以下の項目が実行できません。

- 予約録画
- 視聴しない間に番組表情報を取得しておく

トップへ
「はじめて使うとき」に戻る

ショートカットキー

StationTV X で使用できるショートカットキーです。

ショートカットキー一覧

項目	キー	リモコン
選局		
アップ選局	[+]	チャンネル ∧
ダウン選局	[−]	∨
リモコン番号選局	[1]～[9]，[Shift + 0]，[Shift + 1]，[Shift + 2] ※ Shift キーを押している間はテンキーを使えません	あ 1 ～ /選局 12
３桁番号選局	[¥] + [0]～[9]	番号入力 + わ/スペース 0 ～ ら/WXYZ 9
音量		
音量アップ	[>]	音量 +
音量ダウン	[<]	−
ミュートオン / オフ	[M]	消音
再生 / 録画		
再生	[P]	再生
一時停止	[J]	一時停止
停止	[S]	停止
録画	[R]	録画
巻戻し	[Z]	巻戻し
早送り	[X]	早送り
逆スキップ	[?]	前スキップ
順スキップ	[\ (ろ)]	次スキップ
先頭へ	[H]	前スキップ ※１

項目	キー	リモコン
終端へ	[Y]	次スキップ ※１
視聴		
放送波切換	[F] ※押すたびに放送波が切り換わります。	放送波切換
地上デジタル	[Shift + D]	-
BS	[Shift + B]	-
CS	[Shift + C]	-
音声切換	[A]	音声切換
映像切換	[V]	映像切換
字幕切換	[K]	字幕
ズーム切換	[G]	画面サイズ
画面表示		
メニュー（オン / オフ）	[F12] [アプリケーションキー]	メニュー
番組詳細（オン / オフ）	[F1]	番組詳細
番組表（オン / オフ）	[F2]	番組表
予約一覧（オン / オフ）	[F3]	-
録画番組一覧（オン / オフ）	[F4]	録画番組一覧
ビューア（オン / オフ）	[F9]	-
マウス / リモコン表示切換	[F10]	-
コントロールパネル表示（オン / オフ）	[B]	表示

※１　「リモコンスキップボタン割り当て」設定（P.68）で変更した場合

項目	キー	リモコン
待機モードへ	[Q]	-
メニュー		
上	[↑]	▲
下	[↓]	▼
左	[←]	◀
右	[→]	▶
決定	[Enter] [Space]	OK
戻る	[BackSpace] [Esc]	戻る / クリア
データ放送		
データ放送切換	[D]	d
青	[F5]	青
赤	[F6]	赤
緑	[F7]	緑
黄	[F8]	黄
入力ダイアログ		
すべてクリア	[Esc]	クリア
１文字クリア	[BackSpace]	戻る

! マウス優先表示のときは、一部の操作でリモコンを使用できない場合があります。そのときはマウスまたはキーボードで操作してください。

テレビを見る

くわしく知りたい項目をクリックすると、説明ページにジャンプします。

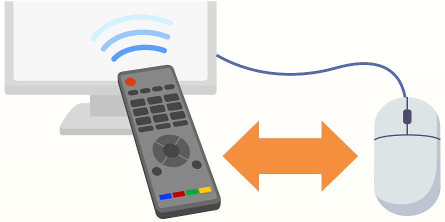
これだけは知っておこう

テレビを見るときの 基本操作 P.23 ～

テレビを見るときの基本操作について説明します。

画面表示を切り換える P.25 ～

StationTV X では、リモコンで操作する場合と、マウスで操作する場合のそれぞれに適した画面表示を選ぶことができます。



デジタル放送を使いこなそう

字幕の表示 P.29 ～

字幕に対応している番組では、画面上に字幕を表示できます。音声が聞き取りにくい場合や、大きな音を出せないときに便利です。

音声出力の切換 P.27 ～

１つの番組に複数の音声が含まれている場合は、番組内で音声を切り換えることができます。また、お使いのスピーカーに合わせた音声の出力形式を選ぶことができます。

データ放送 P.30 ～

天気予報などの生活に役立つ情報や、放送中の番組に関連した情報などを確認できます。また、クイズやアンケートに参加できる双方向サービスも利用できます。

映像の表示サイズを変更 P.26 ～

お使いのディスプレイに合わせた映像表示を選ぶことができます。

目次

テレビを見るときの基本操作

- 放送波を切り換える 23
- チャンネルを切り換える 23
- 音量を調節する 23
- チャンネル情報を確認する 24
- 番組の詳細情報を見る 24

映像表示の切換

- 画面表示を切り換える 25
- 表示方法を切り換える（ズーム切換）........26
- 番組内の映像を切り換える 26

音声出力の切換

- 番組内の音声を切り換える 27
- 出力形式を切り換える 27
- AAC 音声出力の注意点 27
- サラウンド放送をステレオ放送に切り換える .28

字幕の表示

- 字幕を表示する 29
- 常に字幕を表示する 29
- 字幕の種類や言語を切り換える 29

データ放送

- データ放送を見る 30
- マウスで操作するとき 30
- データ放送利用時の注意点 30
- 録画の設定を変更する 31
- 地域の設定を変更する 31
- 表示の設定を変更する 31

視聴時に便利な機能

- 年齢制限を設定する（ペアレンタルコントロール） 32

テレビを見るときの基本操作

チャンネルの切り換えと音量の調節について説明します。リモコンまたはマウスで操作できます。

放送波を切り換える

放送波の切り換えは、BS デジタル放送・110 度 CS デジタル放送に対応した機種のみ対応しています。

機種による機能制限　P.6

リモコン操作

放送波切換

●を押します。
押すたびに放送波が切り換わります。

マウス操作

画面上の 地上D から放送波を選択します。

チャンネルを切り換える

デジタル放送では、１つの放送局に最大３チャンネルが割り当てられている場合があります。それぞれのチャンネルは３桁の番号で区別されます。

リモコン操作

1～12またはを押します。

番号入力

●を押して、1～0 でチャンネル番号を直接入力することもできます。

マウス操作

画面上の ▼ または ▲ をクリックします。

音量を調節する

StationTV X の音量を変更します。

リモコン操作

音量

＋／－を押します。

消音

を押すと消音状態になります。
※もう一度押すと解除されます。

マウス操作

画面上の － または ＋ をクリックします。
音量スライダーをドラッグすることでも調節できます。

を押すと消音状態 になります。
※もう一度押すと解除されます。

チャンネル情報を確認する

キーボードの B ボタンを押します。

※画面上でマウスをクリックしても表示されます。

➡視聴画面の周囲にコントロールパネルとメニューパネルが表示されます。操作をしない状態でしばらく（約５秒）待つと表示が消えます。

番組の詳細情報を見る

① [メニュー] を押します

② [詳細] を選んで OK を押します。

番組詳細画面　P.79

映像表示の切換

画面をお好みのサイズに変更したり、お使いのディスプレイに合わせて表示方法を変更することができます。また、マルチビューに対応した番組では、番組内で表示する映像を選択できます。

画面表示を切り換える

リモコンまたはマウスどちらかの操作に適した画面を選ぶことができます。

① メニューを押します
② [表示切換] を選んでOKを押します。
③ お好みの表示を選んでOKを押します。

項目	機能
ウィンドウ最小サイズ	マウス優先表示に切り換わり、ウィンドウサイズが最も小さい状態になります。
ウィンドウ最大化	マウス優先表示に切り換わり、フルスクリーンで表示されます。
リモコン優先表示	リモコンでの操作に適した表示になります。映像はフルスクリーンで表示されます。 ※一部の操作ではマウスやキーボードを使います。
マウス優先表示	マウスでの操作に適した画面です。ウィンドウの端をドラッグすることで、お好きなサイズに変更することができます。 ※一部の操作でリモコンを使用できない場合があります。そのときはマウスまたはキーボードを使用してください。 ショートカットキー　P.21

画面表示の種類

映像･音声が出力される

リモコン優先表示

映像がフルスクリーンで表示されます。テレビを見るときなど、画面から離れて操作するときに便利です。

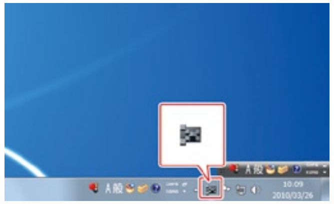
マウス優先表示

映像用と操作用のウィンドウがそれぞれ表示されます。StationTV Xの設定を行ったり、パソコンで別の作業をしながらテレビを見るときなどに便利です。

※リモコンで操作する場合は、視聴画面を最前面に表示してください。

映像･音声が出力されない

待機モード



StationTV Xがタスクトレイに格納されます。

映像表示の切換

表示方法を切り換える（ズーム切換）

① メニューを押します。

② [ズーム切換] を選んでOKを押します。

③ お好みの映像を選んでOKを押します。

放送されている映像

※画面比率が4：3の映像で配信される番組もあります。
また、上下／左右に黒い帯を設けて16:9、4:3の表示をしている番組もあります。

映像の表示方法

ノーマル

そのままの画面比率で表示します。

ワイドズーム

画面比率を保ったまま映像を画面いっぱいに表示します。
映像の一部が表示されません。

フィット

画面比率を変更して映像全体を画面いっぱいに表示します。

※ ディスプレイの解像度が「1920 × 1080」や「1360 × 768」などの 16:9 で表示されている場合、表示モードを切り換えても画面が変化しない場合があります。

※「ズーム」は 4:3 で表示されている番組に適用されますが、放送局の送信方法によって、効果が異なる場合があります。

番組内の映像を切り換える

複数の映像が含まれている番組（マルチビュー番組）で表示する映像を選ぶことができます。

① メニューを押します。

② [映像切換] を選んでOKを押します。

③ お好みの映像を選んでOKを押します。

音声出力の切換

音声の出力形式や番組内で出力する音声を選ぶことができます。

番組内の音声を切り換える

複数の音声が含まれている番組で出力する音声を選ぶことができます。

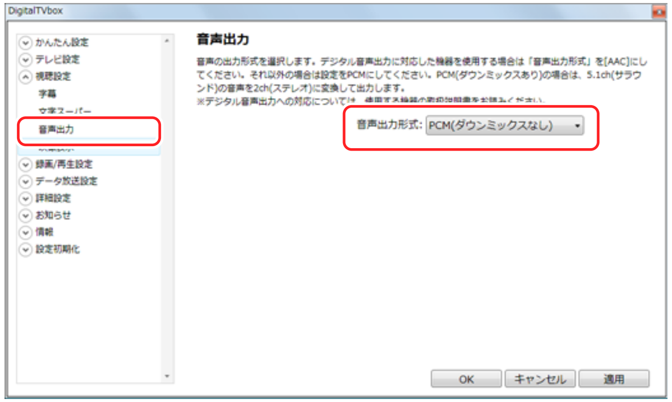
① [メニュー]を押します

② [音声切換] を選んで [OK] を押します。

③ お好みの音声を選んで [OK] を押します。

※音声種別（主音声／副音声／主音声＋副音声）が切り換わる場合や、言語が切り換わる場合など、番組によって切り換わる音声が異なります。

出力形式を切り換える



パソコンの音声出力を光デジタルオーディオ端子に対応した機器に接続する場合、音声形式を切り換えます。

マウス操作

① [メニュー] をクリックして以下の項目を選択します。

設定
▼
視聴設定
▼
音声出力

② [音声出力形式] のリストから選びます。

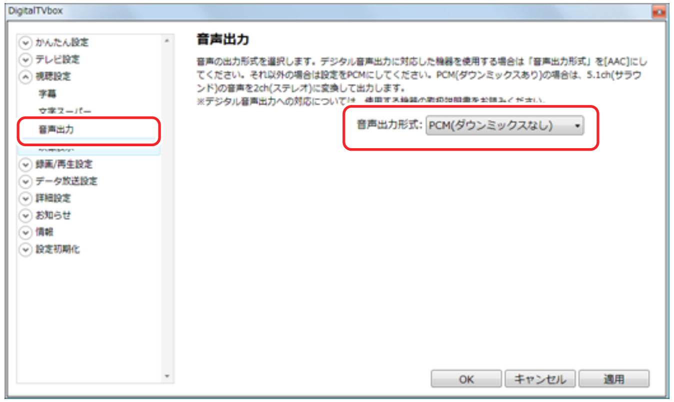
項目	機能
音声出力形式	【AAC】 音声形式を AAC 形式にして出力します。 ※AAC 形式の音声出力に対応した機器を接続している場合のみ選択できます。 ※サンプリング周波数が 32kHz の音声は PCM 形式で出力されます。 【PCM（ダウンミックスあり）】 音声形式を PCM 形式にして出力します。 5.1ch（サラウンド）の音声を 2ch（ステレオ）に変換して出力します。 【PCM（ダウンミックスなし）】 音声形式を PCM 形式にして出力します。 5.1ch（サラウンド）の音声をそのまま出力します。

③ [ＯＫ] をクリックします。

AAC 音声出力の注意点

- パソコンに接続している音声機器が、AAC デジタル音声に対応している場合のみ設定できます。
- 音声機器のサンプリング周波数が 32kHz の場合は自動的に PCM に設定されます。
- StationTV X で音量の調整ができません。音量を調節したいときは、スピーカーの音量を調節してください。
- データ放送や、OS の PCM 音声には対応していないため、出力できません。
- 主 / 副 / 主＋副の切り換えには対応していないため、出力できません。
- 出力形式の設定は、待機モードから視聴に切り換えたとき、または録画番組の再生を開始したときから反映されます。

サラウンド放送をステレオ放送に切り換える



5.1ch サラウンド放送の音声を 2ch ステレオに変換して出力します。

マウス操作

① [メニュー] をクリックして以下の項目を選択します。

設定
▼
視聴設定
▼
音声出力

② [音声出力形式] のリストから [PCM（ダウンミックスあり）] 選びます。

③ [ＯＫ] をクリックします。

字幕の表示

字幕表示に対応している番組では、字幕を表示することができます。また、番組によっては、字幕言語を切り換えることもできます。

トップへ
「テレビを見る」に戻る

字幕を表示する

字幕が含まれている番組で、字幕や文字スーパーを表示することができます。

※ メニューからの設定は視聴中の番組終了まで有効です。次の番組になると字幕は表示されません。
常に字幕を表示させたい場合は右の項目を参照してください。

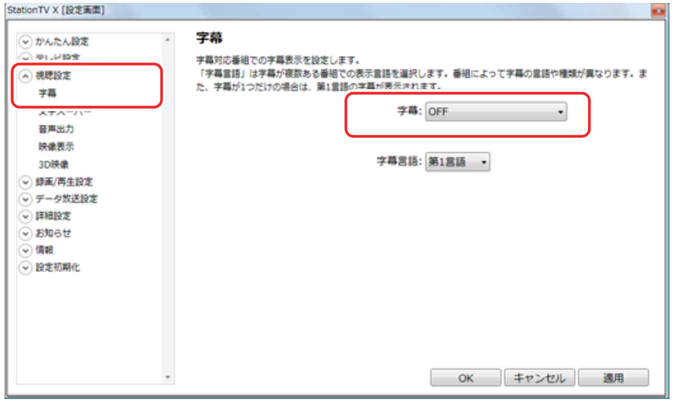
① （メニュー）を押します

② [字幕] を選んで OK を押します。

③ お好みの表示方法を選んで OK を押します。

項目	機能
ON	字幕・文字スーパーを表示します。
OFF	字幕・文字スーパーを表示しません。

常に字幕を表示する



字幕対応番組で常に字幕を表示するように設定することができます。

マウス操作

① [メニュー] をクリックして以下の項目を選択します。

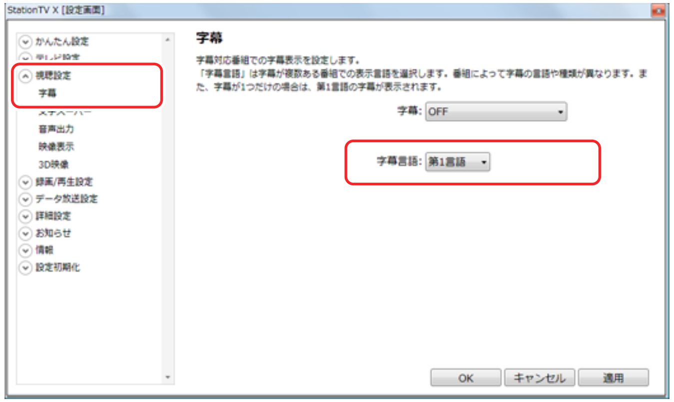
設定
▼
視聴設定
▼
字幕

② [字幕] のリストから選びます。

項目	機能
ON	字幕・文字スーパーを表示します。
OFF	字幕・文字スーパーを表示しません。

③ [ＯＫ] をクリックします。

字幕の種類や言語を切り換える



番組によっては、字幕の種類や言語が複数提供されている場合があります。このときに字幕を選ぶことができます。

マウス操作

① [メニュー] をクリックして以下の項目を選択します。

設定
▼
視聴設定
▼
字幕

② [字幕言語] のリストから選びます。

項目	機能
第一言語	番組で第一言語として提供されている字幕を表示します。
第二言語	番組で第二言語として提供されている字幕を表示します。

※ 字幕の種類や言語は番組によって異なります。

※ 提供されている字幕が１つだけの場合、第二言語に設定していても、第一言語の字幕が表示されます。

※ 上記で設定した内容はすべての字幕対応番組に適用されます。

③ [ＯＫ] をクリックします。

再生時の字幕の表示について

ゆったり / 早見再生中や、早送り / 早戻し中は表示されません。

データ放送

データ放送では、天気予報などの生活に役立つ情報や、放送中の番組に関連した情報などが提供されています。
また、クイズやアンケートに参加できる双方向サービスも利用できます。

トップへ
「テレビを見る」に戻る

データ放送を見る

① d を押します。

※「データ放送自動取得」を ON にしていない場合、しばらく待ってデータ放送情報を取得してから、もう一度 d を押してください。

表示 / 自動取得　P.70

➡データ放送が表示されます。

② 以下のボタンで操作します。

※表示される画面は放送局や番組によって異なります。

ボタン	操作
十字ボタン	選択項目を移動します。
OK	選択中の項目を実行します。
戻る	一つ前の画面に戻ります。
青・赤・緑・黄	選択項目が色ボタンに対応している場合に使用します。
0～9	数字を入力する必要がある項目で、数字を入力します。 ※番組によっては対応していない場合があります。
クリア	入力した数字を削除します。 ※番組によっては使用できない場合があります。
d	データ放送を終了します。

マウスで操作するとき

データ放送用の操作パネルを表示します。

※データ放送の画面を直接クリックして操作することはできません。

① [メニュー] をクリックします。

② [データ放送操作パネル] を選びます。

➡[データ放送操作パネル] が表示されます。

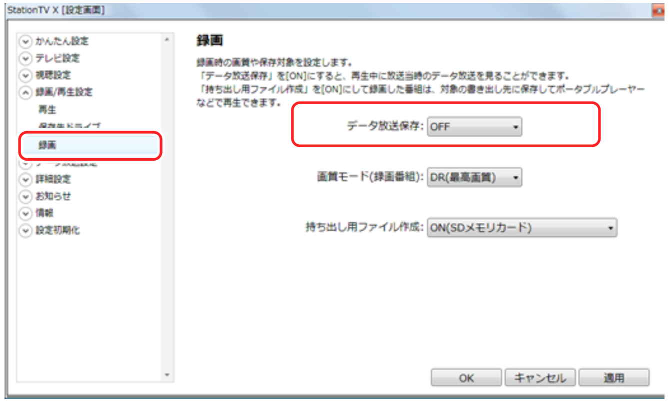
③ 以下のボタンで操作します。

ボタン	操作
∧ ＜ ＞ ∨	選択項目を移動します。
決定	選択中の項目を実行します。
戻る	一つ前の画面に戻ります。
青・赤・緑・黄	選択項目が色ボタンに対応している場合に使用します。

データ放送利用時の注意点

- データ放送の画面上を直接マウスクリックすることでの操作には対応していません。
- 双方向サービスを利用する場合は、パソコンがインターネットに接続されている必要があります。
- 録画番組に含まれているデータ放送では、双方向サービスを利用することができません。

録画の設定を変更する



録画時にデータ放送を記録するかどうか設定できます。

マウス操作

①［メニュー］をクリックして以下の項目を選択します。

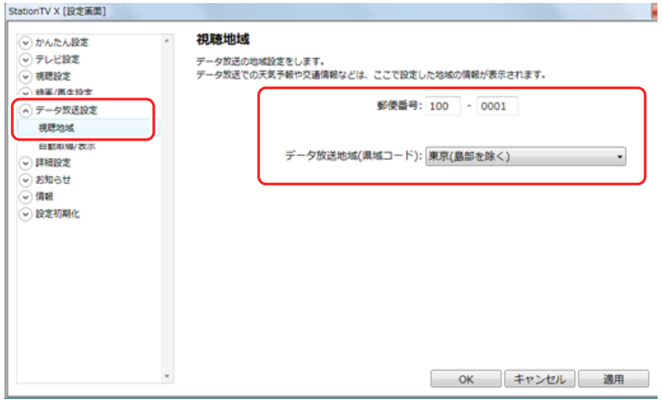
設定
▼
録画 / 再生設定
▼
録画

②［データ放送保存］のリストから選びます。

項目	機能
ON	録画時にデータ放送を記録します。録画番組の再生時にデータ放送を表示することができます。 ※双方向サービスを除きます。
OFF	録画時にデータ放送を記録しません。 再生、書き出し時にデータ放送を表示することはできません。

③［ＯＫ］をクリックします。

地域の設定を変更する



天気予報など地域情報の設定ができます。

マウス操作

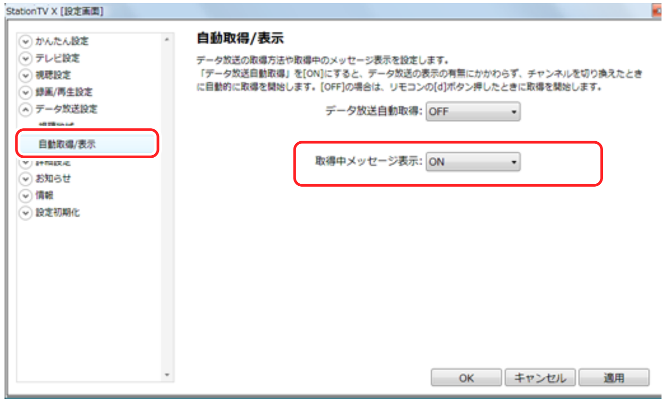
①［メニュー］をクリックして以下の項目を選択します。

設定
▼
データ放送設定
▼
視聴地域

②［郵便番号］と［データ放送地域］を入力します。

③［ＯＫ］をクリックします。

表示の設定を変更する



データ放送に関するメッセージ表示の設定ができます。

マウス操作

①［メニュー］をクリックして以下の項目を選択します。

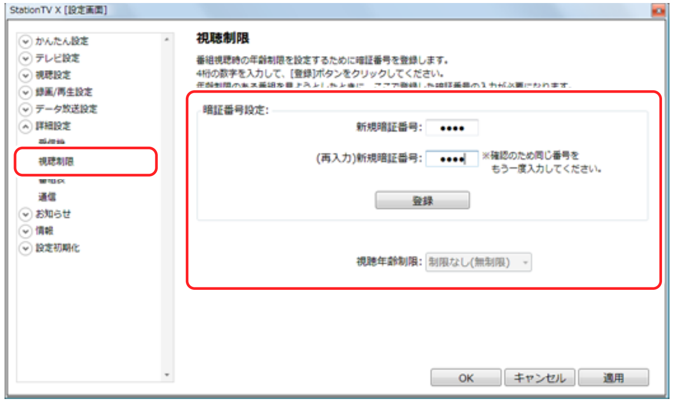
設定
▼
データ放送設定
▼
自動取得 / 表示

②［取得中メッセージ表示設定］のリストから選びます。

項目	機能
ON	データ放送の取得中にメッセージを表示します。
OFF	データ放送の取得中にメッセージを表示しません。

③［ＯＫ］をクリックします。

年齢制限を設定する(ペアレンタルコントロール)



視聴年齢制限に該当する番組を視聴·再生しようとしたときに映像と音声を自動的に停止します。

※ 視聴年齢制限のある番組かどうかは、番組詳細で確認できます。

番組の詳細情報を見る　P.24

マウス操作

① [メニュー] をクリックして以下の項目を選択します。

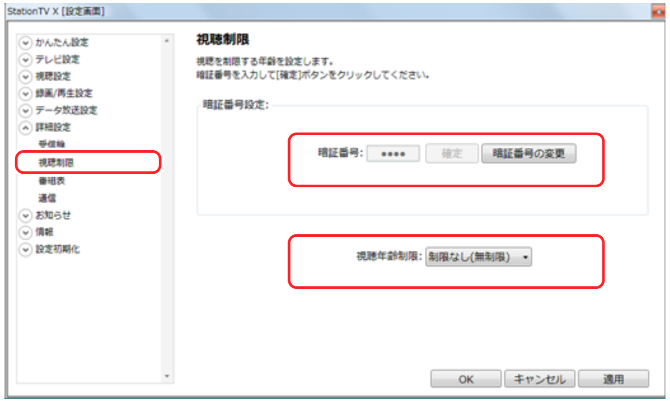
設定
▼
詳細設定
▼
視聴制限

② [新規暗証番号] に暗証番号を入力します。

③ [(再入力)新規暗証番号] にもう一度、暗証番号を入力します。

④ [登録] をクリックします。

➡暗証番号が設定され、入力画面が表示されます。



⑤ ②で設定した [暗証番号] を入力します。

➡[視聴年齢制限] のリストが選択できるようになります。

⑥ 年齢を選びます。

※ 設定した年齢が番組の年齢制限よりも小さい場合、映像と音声の出力が停止され、暗証番号の入力を求められます。

※ 視聴年齢制限の対象番組でも録画できます。ただし、再生時に暗証番号の入力が必要です。

⑦ [OK] をクリックします。

番組表を使う

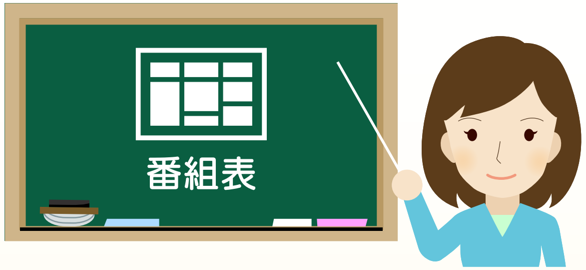
くわしく知りたい項目をクリックすると、説明ページにジャンプします。

トップへ

これだけは知っておこう

番組表の 基本操作 P.34 ～

番組表はデジタル放送特有の機能です。今日から 7 日先までの番組表を画面上で見ることができます。



番組表が 表示されないとき P.34 ～

番組表の情報は放送波を通じて送られ、これを StationTV X が受け取って自動的に更新しています。

StationTV X をはじめて使用するときや、長期間使用していなかったときは、番組表が表示されない場合があります。

番組表の更新には、待機状態のチューナーが 1 基必要です。

番組表を使いこなそう

選択した番組を今すぐ見る P.37 ～

番組表画面で気になった番組を選ぶだけで、すぐにそのチャンネルに切り換えることができます。

選択した番組を録画予約する P.37 ～

番組表で番組を選ぶだけで手軽に録画予約ができます。放送日時を設定する必要はありません。

番組を検索する P.38 ～

ジャンルを指定して、7 日先までの番組表情報の中から該当する番組をピックアップすることができます。

目次

番組表の基本操作

番組表を表示する 34
番組表が表示されないとき 34
番組表内での操作一覧 35
時間帯を変更する 35
放送波・放送局を変更する 35
日付を変更する 36
番組の詳細情報を表示する 36

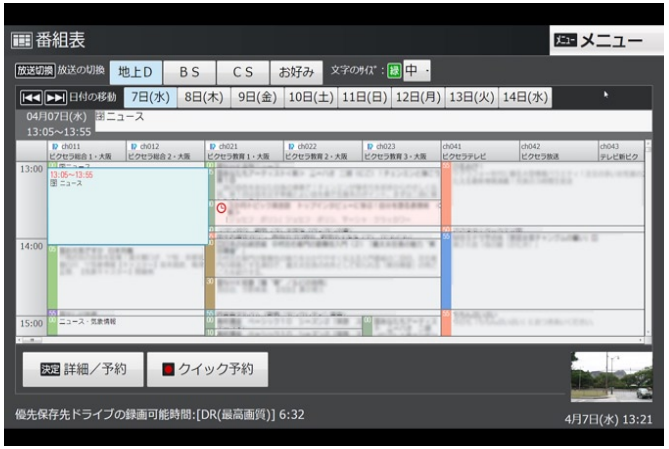
番組表の便利な機能

選択した番組を今すぐ見る 37
選択した番組を録画予約する 37
表示を拡大／縮小する 37
番組を検索する 38
お好みのチャンネルだけを表示する 38

番組表の基本操作

デジタル放送では、放送波に番組表の情報が含まれています。
当日から 7 日先までの番組表を画面上に表示することができます。

番組表を表示する



[番組表] を押します。

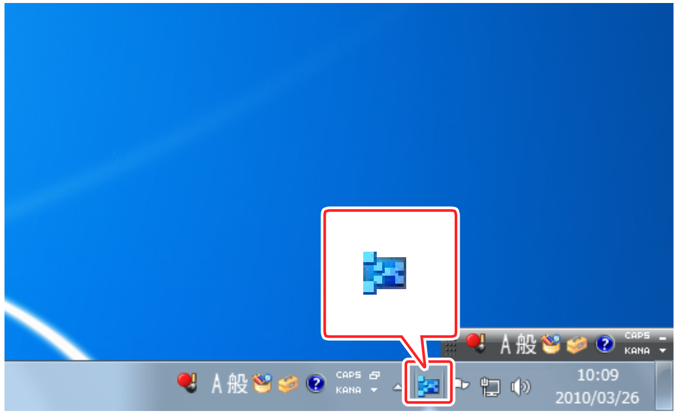
➡番組表が表示されます。

番組表の表示方法

番組表の表示方法は上記以外にもいくつかあります。

- [メニュー] を押してメニューから [番組表] を選ぶ
- タスクトレイのアイコンを右クリックして、表示されるメニューから [番組表] を選ぶ
- Windows のスタートメニューから、[すべてのプログラム] > [PIXELA] > [StationTV X]>[StationTV X 番組表] を選ぶ

番組表が表示されないとき



番組表は自動的に更新されますが、はじめて使う場合や、長期間パソコンの電源を入れていなかった場合は、番組表が表示されないことがあります。
その場合、情報を読み込むまでしばらくお待ちください。

以下の場合は更新できません

- ダブル録画中
- 視聴と録画を同時にしている場合
- シングルチューナーで視聴している場合

番組表情報の取得時間

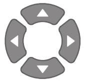
下記の時間を目安にお待ちください。

※電波の状況などで、多少時間がかかる場合もあります。

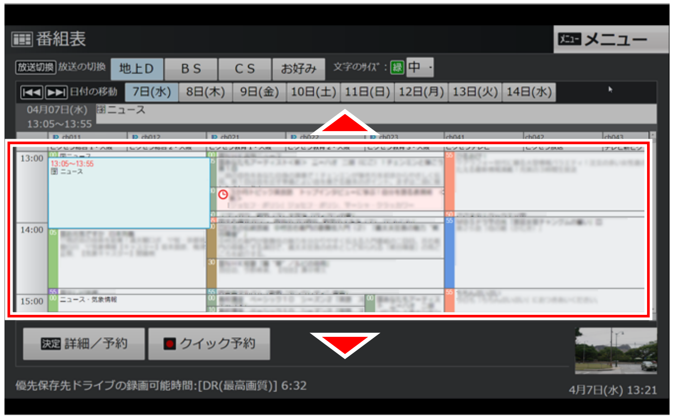
- 地上デジタル：約 13 分
- BS デジタル：約 40 分
- CS デジタル：約 40 分

番組表内での操作一覧

番組表では以下の操作ができます。

ボタン	操作
	選択項目を移動します。
	選択している項目を実行します。
	放送波を切り換えます。
	次の日の番組表を表示します。
	前の日の番組表を表示します。
	文字サイズのリストを表示します。
	選択している番組を録画予約します。
	選択している番組のチャンネルに切り換えます。

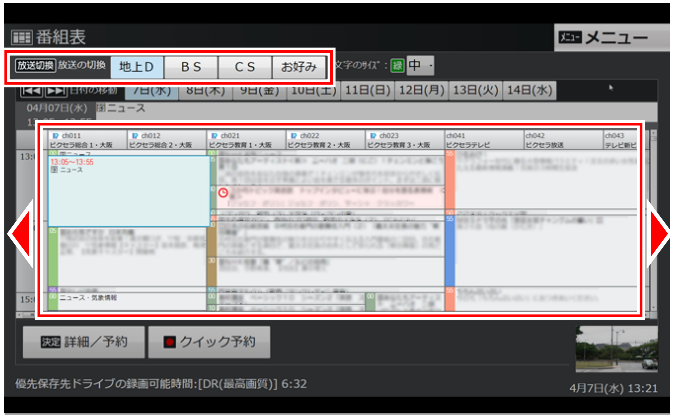
時間帯を変更する



を上下に押します。

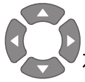
画面端まで行くと、次の時間帯にスクロールします。

放送波・放送局を変更する

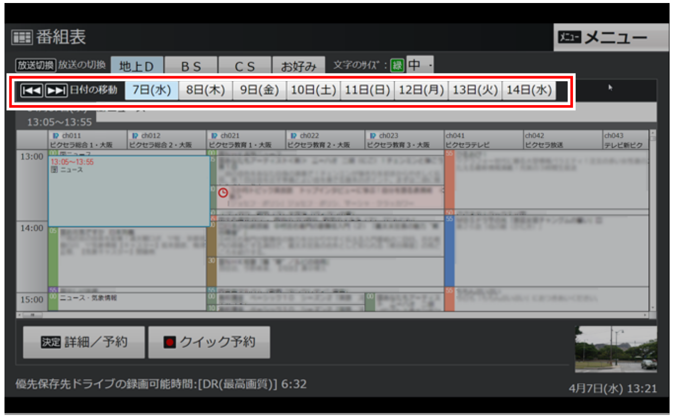


① を押して目的の放送波を選びます。

※地上デジタル放送専用機種の場合は次の手順に進んでください。

② を右または左に押します。

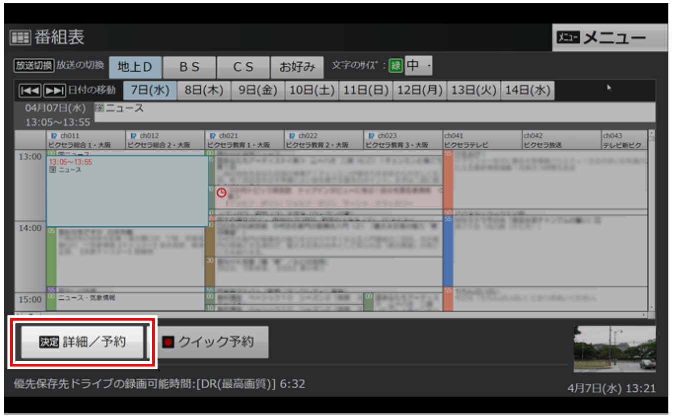
日付を変更する



次の日の番組表を表示するときは 次スキップ を押します。

前の日の番組表を表示するときは 前スキップ を押します。

番組の詳細情報を表示する



① 番組を選びます。

② OK または 番組詳細 を押します。

➡番組の詳細情報が表示されます。

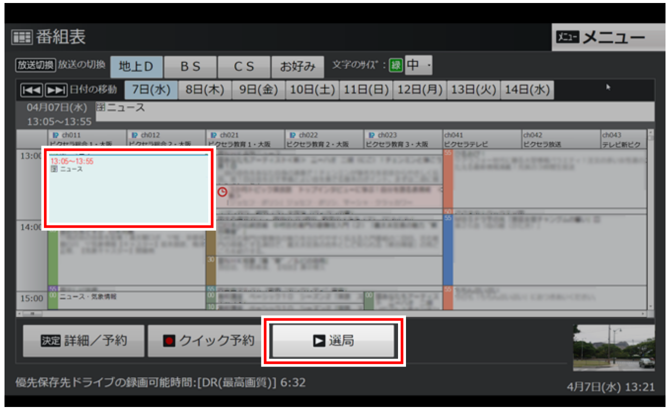
番組詳細情報 / 録画予約　P.81

番組表の便利な機能

番組表で番組を選択して、チャンネルを切り換えたり、録画予約を設定したりすることができます。

トップへ
「番組表を使う」に戻る

選択した番組を今すぐ見る



番組表で選んだ番組のチャンネルにすぐに切り換えることができます。

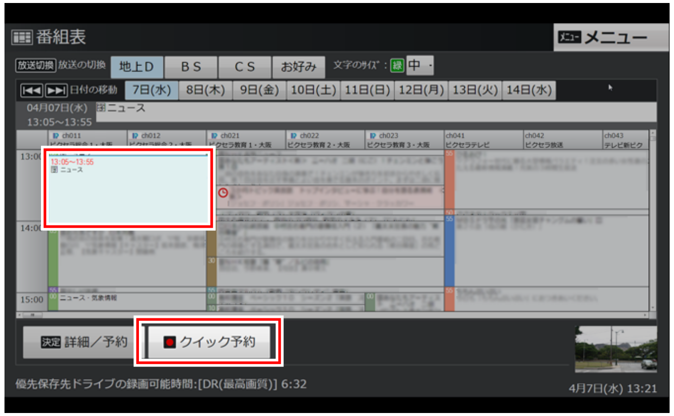
① 番組を選びます。

② 再生 を押します。

※マウス操作の場合は番組詳細情報の画面から選択することができます。

※[選局] ボタンは放送中の番組のときのみ表示されます。

選択した番組を録画予約する

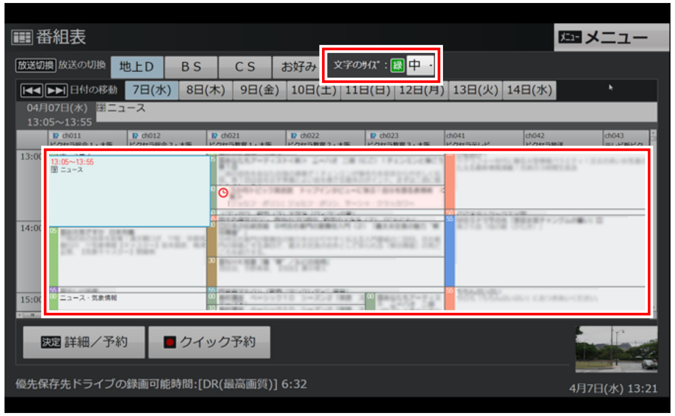


これから先に放送される番組を選んで、録画予約を手軽に設定できます。

① 番組を選びます。

② 録画 を押します。

表示を拡大／縮小する



番組表の内容の文字サイズを変更します。

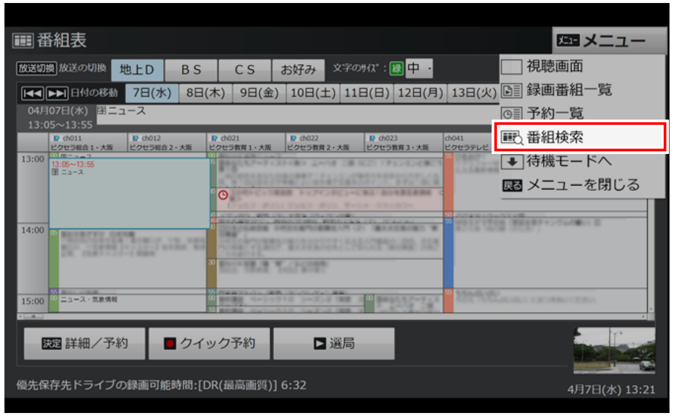
① 緑 を押します。

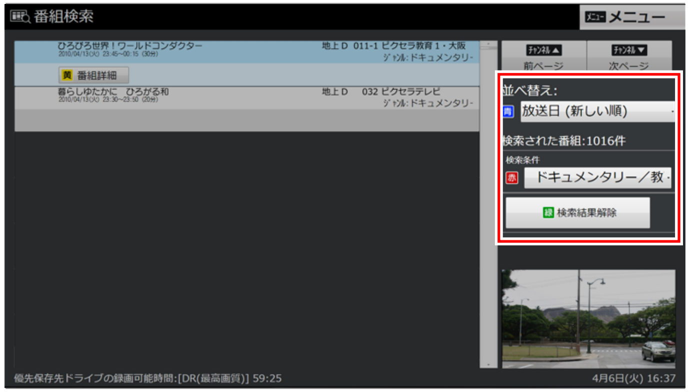
➡文字サイズの一覧が表示されます。

② を上下に押して文字サイズを選択します。

➡番組表内の文字サイズが切り換わります。

番組を検索する





① 番組表を表示している状態で メニュー を押します。

② [番組検索] を選んで OK を押します。

③ 条件を指定します。

➡条件にあてはまる番組が表示されます。

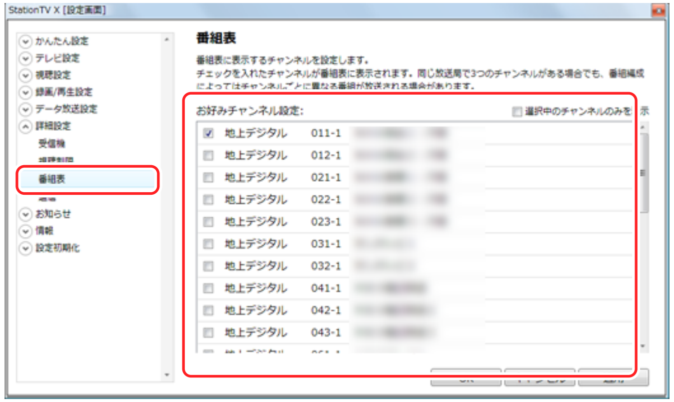
※ 検索結果が表示されるまで、時間がかかる場合があります。

検索するときは…

番組の検索は、現在取得している番組表情報をもとに行われます。番組表情報が取得されていなかったり、更新されていないときは、検索できない場合があります。最新の番組表情報を取得してから検索することをおすすめします。

番組表が表示されないとき　P.34

お好みのチャンネルだけを表示する



表示したいチャンネルだけを番組表に表示させることができます。

マウス操作

① [メニュー] をクリックして以下の項目を選択します。

設定
▼
詳細設定
▼
番組表

② 番組表で表示させたいチャンネルにチェックマークを入れます。

③ [ＯＫ] をクリックします。

録画する

くわしく知りたい項目をクリックすると、説明ページにジャンプします。

トップへ

これだけは知っておこう

パソコンの機種を確認する

お使いのパソコンの機種によって、使える機能が異なります。

※お使いのモデルがわからないときは、パソコンの取扱説明書を参照してください。

機種	録画中のチャンネル切換	ダブル録画
シングルチューナーモデル	×	×
ダブルチューナーモデル	○	○

録画するときの 注意点 P.40 ～

「録画中にチャンネルが切り換えられなくなった」「録画番組が見つからない」などのトラブルを避けるために読んでおいてください。

いろいろな録画方法

見ている番組を録画する P.40 ～

録画ボタンを押すだけで、見ている番組をすぐに録画。デジタル放送特有の字幕やデータ放送なども同時に記録できます。

ダブル録画 P.46 ～

同じ時間帯の 2 番組を両方とも録画することができます。見たい番組が重なったときに役立ちます。

番組表予約 P.41 ～

番組表から録画したい番組を選びます。曜日を指定して、毎週録画することもできます。

ポータブルプレーヤー用として録画する P.46 ～

録画前にあらかじめ設定しておくことで、録画番組を SD メモリーカードやメモリースティックに書き出して、ポータブルプレーヤーで楽しむことができます。

目次

録画

見ている番組を録画する 40
録画オフタイマーを設定する 40
録画時の注意点 40

予約

番組を指定して予約する(番組表予約) 41
予約時の注意点 42
番組表から予約を取り消す・編集する 43
予約一覧から予約を取り消す・編集する 44

画質·保存先の設定

画質を変更する 45
保存先と最初に使用するドライブを選ぶ 45
外付けのハードディスクに保存する 45

録画·予約時に便利な機能

2 番組を同時に録画する(ダブル録画) 46
ポータブルプレーヤー用として録画する 46
予約を検索する 47

番組が遅延·重複したとき

予約番組が遅延したとき 48
予約が重複したとき .48
重複の具体例と優先度 48

録画

放送中の番組を録画します。また、タイマーで番組の終了に合わせて録画を終了することができます。

見ている番組を録画する

① 録画 を押します。

② 録画を終了したいときに、停止 を押します。

録画した番組を再生する　P.50

※「データ放送保存」設定（P.69）が OFF の場合、再生時にデータ放送を見ることはできません。

録画オフタイマーを設定する

録画中に 録画 を押します。

➡押すたびに以下の設定項目が順番に表示されます。
制限なし→この番組終了まで→次の番組終了まで→制限なし…

項目	機能
制限なし	終了時刻を設定しないで、ハードディスクに記録できる分だけ録画します。 ※ハードディスクを３つ以上設定した場合でも、リリーフ録画の適用は１回です。 リリーフ録画　P.45
この番組終了まで	現在録画中の番組終了時に録画を停止します。
次の番組終了まで	次の番組の終了時に録画を停止します。録画する番組の開始前に録画を始めた場合などは、この設定にします。

録画時の注意点

- シングルチューナーの機種では、録画中にチャンネルを切り換えることができません。
  機種による機能制限　P.6
- ダブルチューナーの機種では、同時に２番組まで録画できます。ただし、２番組を録画している間は録画中のチャンネル以外に切り換えることはできません。（再生・書き出しはできます。）
  機種による機能制限　P.6
- 録画中の番組が延長された場合、延長時間分も継続して録画されます。
- 録画中の番組が、イベントリレーによって別チャンネルで放送された場合、変更後のチャンネルに合わせて録画を続行します。ただし、録画番組のファイルは、変更前のチャンネル（通常放送時間分）と変更前のチャンネル（延長時間分）の２つに分かれます。
  イベントリレー　P.9
- ２つ以上の番組をまたいで録画した場合、録画番組のファイルは番組ごとに分割されます。
- コピー不可の番組や、有料放送で視聴契約を結んでいない番組は録画できません。
- 録画・書き出し中は、ログオフ・再起動・シャットダウンをしないでください。録画・書き出しに失敗する場合があります。
- 録画した番組をメディアに書き出すときは、対応メディアの注意事項を確認してください。各メディアで対応している画質モードや設定が違いますので、録画したときの設定によってはメディアに書き出すことができない場合があります。
  対応メディア　P.59

エラーメッセージが表示され録画できないとき

「キャプチャーボードに保存できる録画番組数の上限を超えるため、録画を中止しました。不要な番組を削除してください。」というメッセージが表示される場合は、「録画情報管理ツール」で [録画情報削除] をクリックしてください。

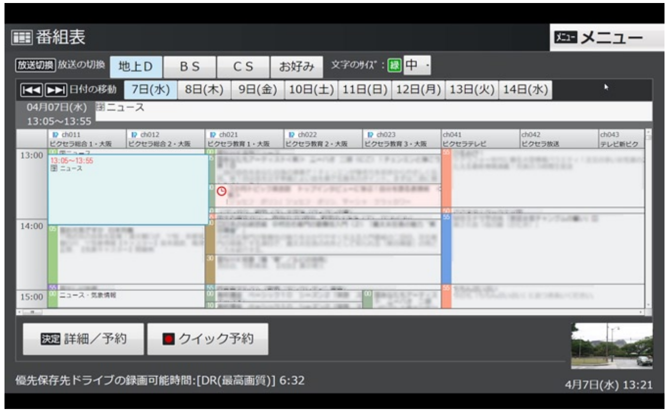
録画情報管理ツール　P.56

※ 実行するとすべての録画情報が削除されます。録画番組一覧に番組が表示されていても利用できなくなりますので、保存したい番組は事前に書き出しておくことをおすすめします。

予約

録画予約は番組表で番組を選びます。

番組を指定して予約する（番組表予約）



① 番組表 を押します。

➡番組表が表示されます。

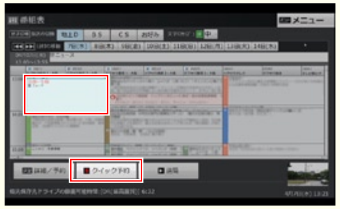
② 録画したい番組を選んで OK を押します。

※番組表に情報が表示されない場合は、番組情報を取得してください。

番組情報の取得時間　P.34

クイック予約

番組表で番組を選んで 録画 を押すと、録画の詳細設定（以降の手順）をしないで、すぐに予約を登録できます。



③ 青 を押します。

④ 画質を選んで OK を押します。

画質	機能
DR（最高画質）	放送された画質のまま録画します。 最も良い画質です。
HX（高画質）	映像を圧縮して録画します。 ※画質の良さは、「高画質」「長時間」「超長時間」の順番となります。ただし、画質が良いほど、録画可能時間が短くなります。 ※複数の映像が含まれる番組の場合、[映像 1] の映像だけが記録されます。
HS（長時間）	
HL（超長時間）	

※録画した番組をメディアに書き出すときは、対応メディアの注意事項を確認してください。各メディアで対応し　ている画質モードや設定が違いますので、録画したときの設定によってはメディアに書き出すことができない場合があります。

対応メディア　P.59

⑤ 緑 を押します。

⑥ 繰り返しの設定を選んで OK を押します。

画質	機能
１回	今回だけ録画します。
毎週	毎週、指定曜日の同じ時間帯で録画します。
毎日	毎日、同じ時間帯で録画します。
月ー金	毎週、月曜日から金曜日の同じ時間帯で録画します。
月ー土	毎週、月曜日から土曜日の同じ時間帯で録画します。

⑦ 録画 を押します。

➡録画予約が登録されます。

- 予約の登録後に StationTV X を使用しないときは、待機モードにしておくと便利です。

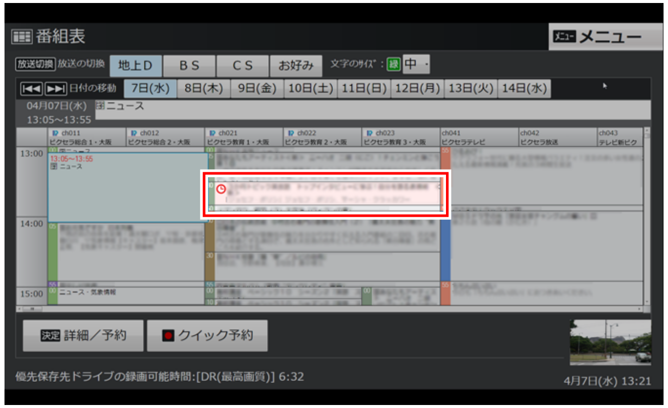
待機モード　P.19

予約時の注意点

以下の場合は、予約ができません。

- 登録された予約の数が制限数の 300 件を超えた場合
- 番組表予約で、すでに終了時刻を過ぎた場合
- 番組表予約で、対象の番組が「コピー不可」または「有料放送で視聴契約を結んでいない番組」の場合

番組表から予約を取り消す・編集する



① を押します。

➡番組表が表示されます。

② 予約した番組を選びます。

※予約した番組には が表示されます。

③ 目的の操作を実行します。

- 予約を削除するときは、0 を押します。
- 画質を変更するときは を押します。
- 繰り返しを変更するときは、 を押します。

予約一覧から予約を取り消す・編集する

① キーボードの F3 を押します。

② 予約を選びます。

※録画開始 1 分前および録画中の予約は削除できません。

③ 目的の操作を実行します。

- 予約を削除するときは、わ/スペース 0 を押します。
- 予約を編集するときは、黄 を押します。

番組詳細画面（予約一覧） P.87

予約一覧の表示方法

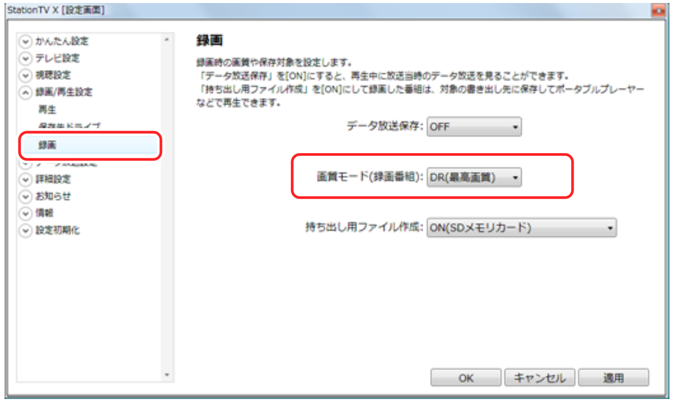
予約一覧の表示方法は上記以外にもいくつかあります。

- を押してメニューから [予約一覧] を選ぶ
- タスクトレイのアイコンを右クリックして、表示されるメニューから [予約一覧] を選ぶ
- Windows のスタートメニューから、[すべてのプログラム] > [PIXELA] > [StationTV X]>[StationTV X 予約一覧] を選ぶ

画質・保存先の設定

録画する番組の画質や保存先を設定することができます。
この設定は、マウスで操作します。

画質を変更する



録画するときの画質をあらかじめ指定しておくことができます。

※ 予約録画の場合は、予約するたびに変更できます。

マウス操作

① 画面上のメニューをクリックして、以下の項目を選択します。

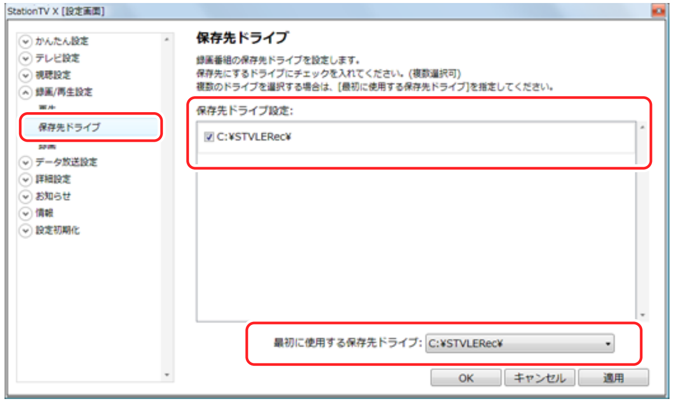
設定
▼
録画 / 再生設定
▼
録画

② [画質モード] のリストから選びます。

画質	機能
DR（最高画質）	放送された画質のまま録画します。最も良い画質です。
HX（高画質）	映像を圧縮して録画します。画質の良さは、「高画質」「長時間」「超長時間」の順番となります。ただし、画質が良いほど、録画可能時間が短くなります。
HS（長時間）	
HL（超長時間）	

③ [O K] をクリックします。

保存先と最初に使用するドライブを選ぶ



保存するドライブを設定します。複数設定できるので、最初に使用する保存先ドライブを選択してください。

また、録画中に保存先のハードディスク容量が不足した場合、別のハードディスクに切り換えて録画を続行することができます。（リリーフ録画）

※ ハードディスクを 3 つ以上設定した場合でも、リリーフ録画の適用は 1 回です。

マウス操作

① メニューをクリックして、以下の項目を選択します。

設定
▼
録画 / 再生設定
▼
保存先ドライブ

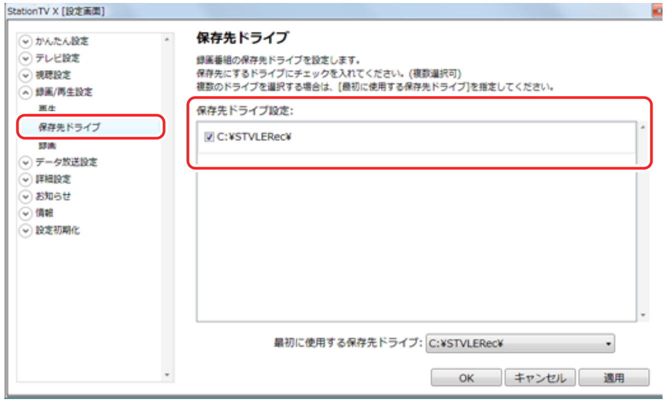
② [保存先ドライブ] のチェックボックスをクリックしてチェックを入れます。

③ [最初に使用する保存先ドライブ] を選択します。

④ [OK] をクリックします。

❗ 録画番組が保存されているドライブのチェックをはずすと、録画番組が削除され、保護した番組もすべて見られなくなりますので注意してください。

外付けのハードディスクに保存する



マウス操作

① 外付けのハードディスクをパソコンに接続します。

※ファイルシステムが NTFS のハードディスクを使用してください。

※ネットワーク接続のハードディスクには対応していません。

② StationTV X を再起動します。

③ メニューをクリックして、以下の項目を選択します。

設定
▼
録画 / 再生設定
▼
保存先ドライブ

④ [保存先ドライブ] で使用するドライブのチェックボックスをクリックしてチェックを入れます。

⑤ [OK] をクリックします。

2 番組を同時に録画する（ダブル録画）

この操作はダブルチューナーの機種でのみ使用できます。

機種による機能制限 P.6

① 録画したい番組にチャンネルを合わせます。

② 録画 を押します。

③ もう一方の録画したい番組にチャンネルを切り換えます。

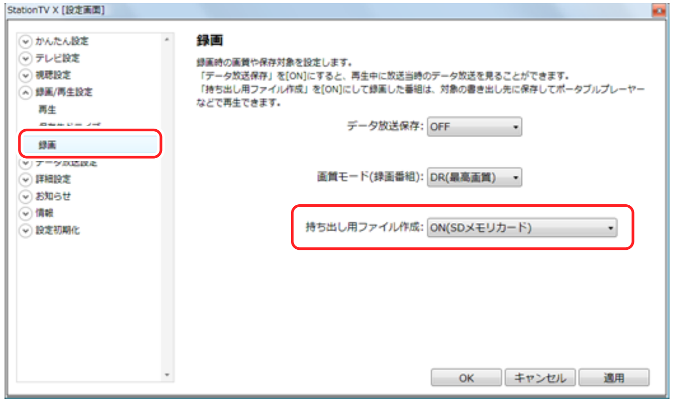
④ 録画 を押します。

※ダブル録画中は、録画している番組以外にチャンネルを切り換えることはできません。

視聴していないほうの番組の録画（裏録）を停止するには、タスクトレイを右クリックしてください。

表示されたメニューの一覧から「（放送波）（チャンネル番号）の録画を停止する」を選んで、録画を停止してください。

ポータブルプレーヤー用として録画する



SD メモリーカードやメモリースティックなどに書き出して、PSP「プレイステーション・ポータブル」や、その他のポータブルプレーヤーなどで再生できるようにします。

マウス操作

① メニューをクリックして、以下の項目を選択します。

設定
▼
録画 / 再生設定
▼
録画

② [持ち出し用ファイル作成] の設定を [ON] にします。

書き出し先ごとに設定項目があります。対象の書き出し先の設定項目を選んでください。

③ [OK] をクリックします。

➡設定後に録画した番組は SD メモリーカード、メモリースティックなどに書き出すことができます。

予約を検索する

① キーボードの F3 を押します。

予約一覧表示方法　P.44

② 各検索項目の条件（下表）を選んで OK を押します。

➡設定した項目にあてはまる予約が表示されます。

■ 検索項目

項目	機能
すべて	すべて表示します。
ジャンル	番組情報に含まれるジャンルで絞り込みます。
重複	時間が重複した予約を絞り込みます。

番組が遅延・重複したとき

予約した番組の開始が遅れた場合や予約録画が同じ時間帯に重複する場合の対応について説明します。

予約番組が遅延したとき

予約していた番組の開始時刻が予定よりも遅れた場合、実際の放送時間に合わせて予約が実行されます。

ただし、当初の開始時刻に放送されている番組の次に予約した番組が放送される場合に限ります。

また更新された番組表内で、3 時間以内に見つからなければキャンセルされます。

予約が重複したとき

予約が重複する場合は、以下の予約が優先されます。

- 開始時刻が遅い方の予約
- 同時刻に開始される場合は、登録が新しい方の予約

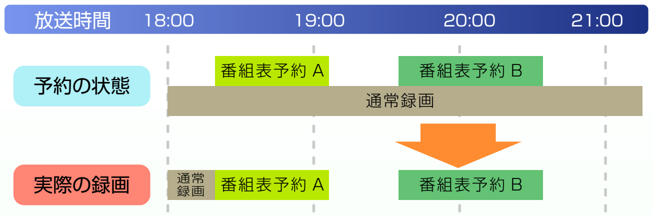
※番組の遅延によって予約の時間が変更になった場合でも、当初の予約設定にそって上記のルールが適用されます。

重複の具体例と優先度

通常録画で録画中に番組表予約が開始

※図はシングルチューナーモデルの例です。

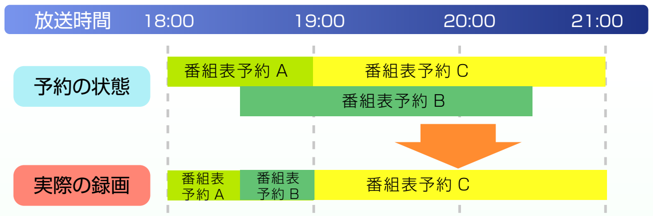
後からはじまる予約が実行されます。



3つ以上の番組表予約が重複

※図はシングルチューナーモデルの例です。

後からはじまる予約が実行されます。



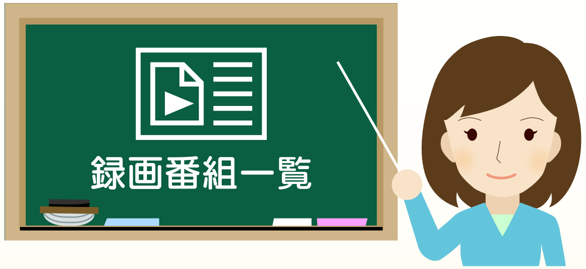
再生する

くわしく知りたい項目をクリックすると、説明ページにジャンプします。

これだけは知っておこう

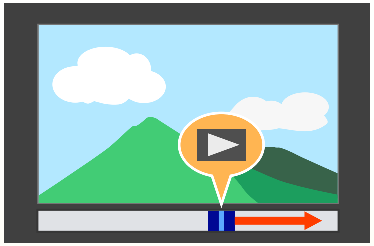
録画した番組を再生する P.50 〜

録画した番組を再生する手順と、再生中にできる操作について覚えましょう。



つづき再生 P.50 〜

番組の途中で見るのをやめた場合、再生を停止したところから再開することができます。



こんなこともできます

ゆったり再生・早見再生 P.52 〜

通常の再生速度を遅くして見ることや、最大2倍の速さにして、かけ足で見ることができます。

追いかけ再生 P.52 〜

録画中の番組が終了していなくても、最初から再生していくことができます。

目次

再生の基本操作

録画した番組を再生する 50
前回の続きから再生する(つづき再生) 50
番組を最初から再生する 50
再生中の操作一覧 51

再生時に便利な機能

ゆったり再生・早見再生 52
録画中の番組を再生する(追いかけ再生) 52
再生停止時の動作 52

再生の基本操作

録画した番組は「録画番組一覧」画面で確認できます。

トップへ
「再生する」に戻る

録画した番組を再生する

① 録画番組一覧 を押します。

※リモコンにボタンがない場合は、メニュー を押して、[録画番組一覧] を選択してください。

② 番組を選んで 再生 を押します。

※一度視聴した番組は、[つづき再生] になります。

前回の続きから再生する（つづき再生）

① 録画番組一覧 を押します。

※リモコンにボタンがない場合は、メニュー を押して、[録画番組一覧] を選択してください。

② 一度視聴した番組を選んで 再生 を押します。

※前回停止した位置が、番組の開始または終了 1 分以内のときは、先頭から再生されます。

※番組詳細画面からでも [つづき再生] で再生できます。

番組を最初から再生する

① 録画番組一覧 を押します。

※リモコンにボタンがない場合は、メニュー を押して、[録画番組一覧] を選択してください。

② 再生する番組を選んで 黄 を押します。

③ [先頭から再生] を選んで OK を押します。

トップへ
「再生する」に戻る

再生中の操作一覧

再生中の操作はリモコンまたは画面上のコントロールパネルで行います。

StationTV X での操作が無い場合、しばらくたつと消えます。
もう一度表示したいときは、以下で表示してください。

マウス操作

視聴画面を左クリックすると表示されます。

※キーボードの B を押しても表示されます。

リモコン	コントロールパネル	操作	詳細
–		再生位置を移動	ドラッグすることで再生位置を変更します。
再生		通常再生 ゆったり再生	停止中および一時停止中は再生を開始します。 再生中に押すことで、通常の 0.8 倍の速度で再生します（音声出力の設定が [PCM] の場合のみ）。 ゆったり再生　P.52
一時停止		一時停止	再生を一時停止します。
停止		停止	再生を停止します。
前スキップ		逆スキップ	指定した秒数を戻して再生します。 スキップ秒数の設定　P.68
次スキップ		順スキップ	指定した秒数を進めて再生します。 スキップ秒数の設定　P.68
巻戻し		早戻し	2 倍／ 10 倍／ 60 倍／ 120 倍の速度で早戻しします。 押すたびに速度が切り換わります。
早送り		早見再生 早送り	1.2 倍／ 1.5 倍／ 2 倍／ 1 0 倍／ 60 倍／ 120 倍の速度で早送りします。押すたびに速度が切り換わります。1.2 倍～ 2 倍までの間は、音声も出力されます。 ※上記は、音声出力の設定が [PCM] の場合のみ有効です。[AAC] のときは 1.2 倍速と 1.5 倍速が利用できません。また、2 倍速のときに音声は出力されません。 早見再生　P.52
–		先頭へ	番組の先頭へ移動します。 ※リモコンボタンの割り当てを変更することができます。 リモコンスキップボタン割り当て　P.68
–		終端へ	番組の終端へ移動します。 ※リモコンボタンの割り当てを変更することができます。 リモコンスキップボタン割り当て　P.68
d	d	データ放送	放送時に配信されていたデータ放送を表示します。 ※データ放送を録画していない場合は表示されません。 データ放送保存　P.69

再生時に便利な機能

StationTV X はさまざまな方法で再生することができます。

ゆったり再生・早見再生

ゆったり再生

通常の 0.8 倍の速度で再生できます。

通常の再生中に［再生］を押します。
もう一度押すと、通常の再生速度に戻ります。

早見再生

通常の 1.2 倍／ 1.5 倍／ 2.0 倍の速度で再生できます。

通常の再生中に［早送り］を押します。
押すたびに再生速度が速まります。

※ボタンを 4 回以上を押すと、早送りになり音声が出力されません。

［再生］を押すと、通常の再生速度に戻ります。

ゆったり再生・早見再生ができる条件

音声出力の設定が [PCM（ダウンミックスあり）] または [PCM（ダウンミックスなし）] の場合のみ利用できます。

録画中の番組を再生する（追いかけ再生）

録画中の番組でも、すでに録画している部分は再生、早送り、早戻しなどが自由にできます。

① ［録画番組一覧］を押します。

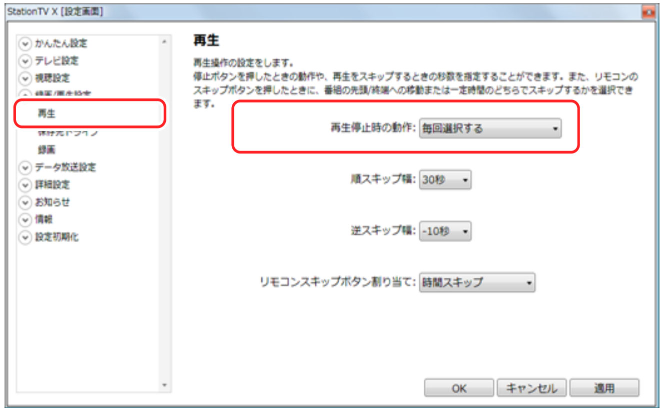
※リモコンにボタンがない場合は、［メニュー］を押して、[録画番組一覧] を選択してください。

② 録画中の番組を選んで［再生］を押します。

現在の再生位置について

追いかけ再生が早送りなどで現在録画中の時点まで達すると、通常再生に戻り、録画中の番組画面が表示されます。コントロールパネルの再生スライダーで現在の再生位置が確認できます。

再生停止時の動作



録画番組の再生を停止したときや終端に達したときの動作を指定することができます。

マウス操作

① [メニュー] をクリックして以下の項目を選択します。

設定
▼
録画 / 再生設定
▼
再生

② [再生停止時の動作] のリストから選びます。

項目	機能
毎回選択する	停止時メニューを表示します。 • つづきから再生する / もう一度再生する • 録画番組一覧を表示する • テレビを見る • この番組を削除する
テレビを見る	現在放送中のテレビ画面を表示します。
録画番組一覧を表示する	録画番組一覧を表示します。

③ [OK] をクリックします。

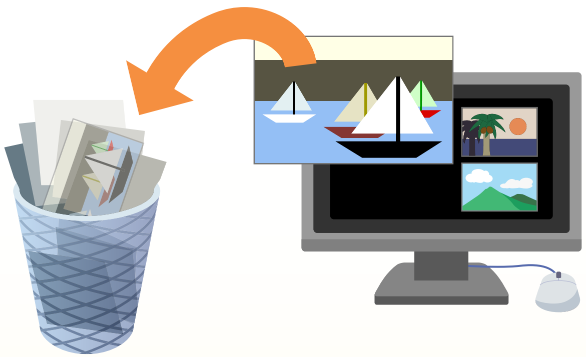
管理する

くわしく知りたい項目をクリックすると、説明ページにジャンプします。

これだけは知っておこう

録画番組を
削除する P.55 ～

パソコンのハードディスク容量には限りがあります。ハードディスクがいっぱいになり、思わぬところで録画できなくなることを避けるためにも、必要ない録画番組はこまめに削除しておくことをおすすめします。



こんなこともできます

録画番組の検索 P.54 ～

録画番組の数が増えて、録画番組一覧で探しにくくなったときは、ジャンルで検索したり、並べ替えで整理することで見つけやすくなります。

録画番組を保護する P.55 ～

録画番組をうっかり削除してしまわないように保護することができます。

目次

録画番組の検索
該当項目で検索する .54
録画番組の管理
録画番組を削除する .55
録画番組を保護する .55
保護を解除する 55
「バックアップと復元」機能を使用した場合 . . .56
録画番組情報を復元する（録画情報管理ツール） 56

録画番組の検索

録画した番組をキーワードや該当項目で検索することができます。
また、検索条件を登録しておいて呼び出すこともできます。

該当項目で検索する

①

を押します。

※リモコンにボタンがない場合は、

を押して、[録画番組一覧] を選択してください。

② 各検索項目の条件（下表）を選んで OK を押します。

➡設定した項目にあてはまる番組が表示されます。

■検索項目

項目	機能
すべて	すべて表示します。
未視聴	未視聴の録画番組に絞り込みます。
保護	保護している録画番組のみに絞り込みます。
ジャンル	番組情報に含まれるジャンルで絞り込みます。
中断	中断された録画番組に絞り込みます。
中止	中止された録画番組に絞り込みます。

録画番組の管理

録画した番組を削除したり、パソコンのリカバリ後に録画情報を復元します。

トップへ
「管理する」に戻る

録画番組を削除する

① [録画番組一覧]を押します。

※リモコンにボタンがない場合は、[メニュー]を押して、[録画番組一覧] を選択してください。

② 番組を選んで [0（わ/スペース）] を押します。

※以下の場合は削除できません。
・番組が保護されている
・番組が録画、再生、または書き出し中である

録画番組を保護する

保存しておきたい録画番組を誤って削除しないように保護することができます。

① [録画番組一覧]を押します。

※リモコンにボタンがない場合は、[メニュー]を押して、[録画番組一覧] を選択してください。

② 番組を選んで [1（あ）] を押します。

➡保護された番組には 🔒 が表示されます。

保護を解除する

① [録画番組一覧]を押します。

※リモコンにボタンがない場合は、[メニュー]を押して、[録画番組一覧] を選択してください。

② 保護されている番組を選んで [1（あ）] を押します。

「バックアップと復元」機能を使用した場合

「バックアップと復元」の「復元」機能完了後、StationTV X で録画番組を見るために必要なツールが「録画情報管理ツール」です。

このツールを使用して「録画番組データ」と「録画情報データ」から録画番組を復元します。

「バックアップと復元」などの HDD のリカバリ実行前は、必ずバックアップを取ってください

「バックアップと復元」を使用して「復元」を実行すると、C ドライブに保存されている「録画情報」データもディスクイメージ作成時の状態に戻るため、ディスクイメージ作成後に録画した番組は、StationTV X の「録画番組」画面に表示されず、再生できなくなります。

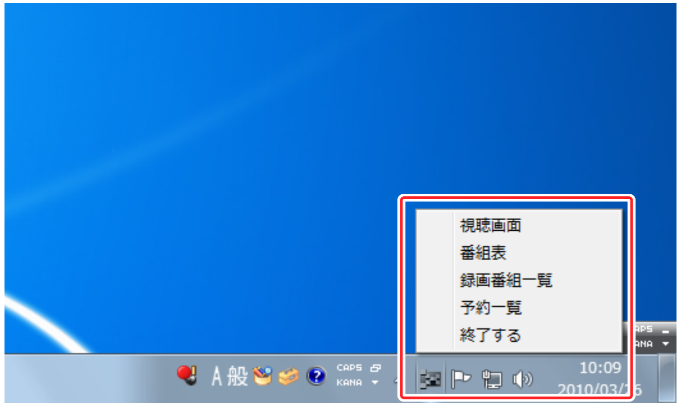
このような現象を回避するため、これらの作業を実行する前には必ず「録画情報」データのバックアップを取ってください。
なお、「バックアップと復元」実行前にかかわらず、重要なデータはこまめにバックアップを取っておくことをおすすめします。

■「録画番組」データ、「録画情報」データとは？

StationTV X で録画した番組は以下の２つのデータで保存されます。録画番組を再生する際にはこれらの両方が必要になり、どちらが欠けても再生することができなくなります。

- 「録画番組」データ（番組自体のデータ）
- 「録画情報」データ（録画番組一覧・デジタル放送番組の一部の情報など）

録画番組情報を復元する（録画情報管理ツール）



「録画情報」データを復元するには、「録画情報管理ツール」を使用します。使用するときは、「StationTV X」を完全に終了してください。

StationTV X が完全に終了している状態では録画予約は実行されませんので、事前に録画予約がないかご確認ください。

マウス操作

① 以下の順番で選択します

Windows のスタートメニュー
▼
すべてのプログラム
▼
PIXELA
▼
StationTV X
▼
録画情報管理ツール

➡StationTV X の完全終了確認ダイアログが表示されます。

② [OK] をクリックします。

③ 「録画情報管理ツール」画面の [復元開始] をクリックします。

➡復元が開始されます。
完了すると、確認ダイアログが表示されます。

④ [OK] をクリックします。

➡「録画情報管理ツール」が自動的に終了します。

[録画情報削除] ボタンについて

キャプチャーボードに記録されている録画情報を削除します。「キャプチャーボードに保存できる録画番組数の上限を超えるため、録画を中止しました。不要な番組を削除してください。」というメッセージが表示される場合のみ使用してください。

※ 実行するとすべての録画情報が削除されます。録画番組一覧に番組が表示されていても利用できなくなりますので、保存したい番組は事前に書き出しておくことをおすすめします。

書き出す

くわしく知りたい項目をクリックすると、説明ページにジャンプします。

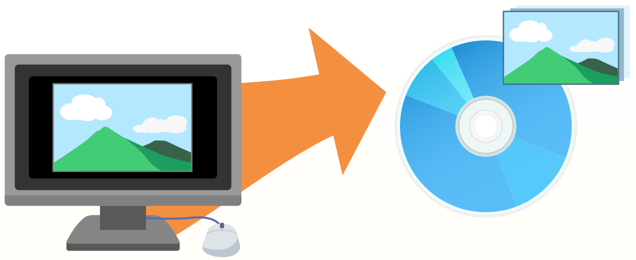
トップへ

これだけは知っておこう

書き出しに必要な条件 P.58 ～

デジタル放送では、著作権保護のため書き出しの回数が制限されている番組があります。

書き出しの前に、書き出せる番組かどうかを確認しましょう。



対応メディア P.59 ～

書き出しの前に対応しているメディアを確認してください。

DVD ディスクの場合は、デジタル放送のコピー制御方式に対応したディスクが必要になるので注意してください。

また、SD メモリーカードやメモリースティックには、あらかじめ持ち出し用に設定してから録画した番組のみを書き出せます。

目次

書き出しの前に確認しよう

書き出しに必要な条件 58
コピー制限 58
対応メディア 59
書き出すときの画質と容量のめやす 60
. 60

書き出し

録画番組を書き出す 61
書き出しをキャンセルする 62

書き出しの前に確認しよう

録画番組を書き出すには、番組そのものが書き出せることと、使用するメディアが対応していることが必要です。

トップへ
「書き出す」に戻る

書き出しに必要な条件

録画番組を書き出す場合は、以下の条件が必要です。

条件 1

書き出しに対応している番組であること

右記の「コピー制限」をお読みのうえ、書き出しができる番組かどうか確認してください。

条件 2

書き出しに対応しているメディアを使っていること

P.59 の「対応メディア」に該当するものを使用してください。

条件 3

DVD-R を使用する場合、「保存先ドライブ」に指定したドライブのうち、一番空き領域が多いドライブに、以下の空き領域があること

使用するディスクによって以下の空き領域が必要です。

- DVD-R(1 層): 5GB
- DVD-R(2 層): 10GB

コピー制限

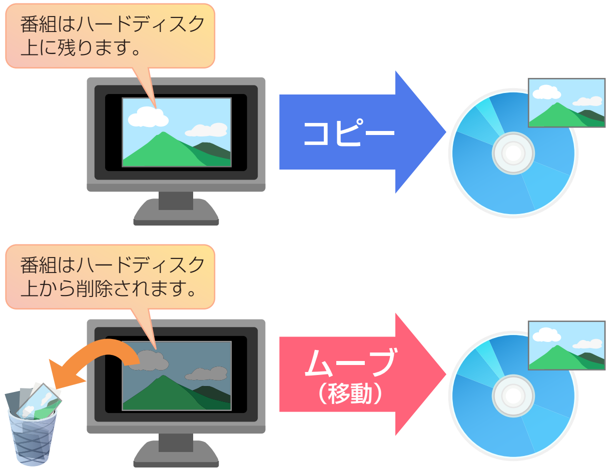
デジタル放送では著作権保護のため、番組ごとにコピー制限が設けられています。コピー制限の種類によっては、録画した番組をパソコンから書き出せなかったり、書き出す回数に制限があるので注意してください。

■ コピー制限の種類

種類	書き出せる回数
コピーフリー	回数に制限なく、書き出すことができます。
ダビング 10	10 回書き出すことができます。ただし、最後の 1 回を書き出すと、パソコンから録画番組が削除されます(ムーブ)。　※下記参照
コピーワンス	1 回だけ書き出すことができます。ただし、書き出し後は、パソコンから録画番組が削除されます(ムーブ)。　※下記参照
コピー不可	録画することができません。

■ コピーとムーブ

ダビング 10 の場合、9 回までは「コピー」で書き出され、最後の 1 回が「ムーブ」で書き出されます。コピーワンスの場合は、常に「ムーブ」で書き出されます。



■ コピー制限の確認方法

① を押します。

※リモコンにボタンがない場合は、 を押して、[録画番組一覧] を選択してください。

② 「コピー回数」を確認します。

番組詳細情報　P.79

対応メディア

録画番組の書き出しには、以下のメディアが使えます。

※お使いの機種によって、対応しているメディアは異なります。

メディアの種類		条件
DVD ディスク	DVD-R(SL, DL) DVD-RW DVD-RAM	• CPRM 対応のディスクが必要です。 • 録画番組のファイル容量に加えて、200MB 以上の空き容量が必要です。 • 「DR(最高画質)」で録画した映像は SD 画質で記録されます。 ※AVCREC 記録に対応したドライブを使用した場合のみ「HX(高画質)」「HS(長時間)」「HL(超長時間)」を HD 画質のまま記録できます。 • 複数の映像・音声を含む番組は、映像 1・音声 1 だけが記録されます。 • AACS キーの有効期限が切れている場合、インターネット接続が必要になります。 使用上のご注意 P.9
ブルーレイディスク	BD-R(SL, DL) BD-RE(SL, DL)	• 録画番組のファイル容量に加えて、200MB 以上の空き容量が必要です。 • AACS キーの有効期限が切れている場合、インターネット接続が必要になります。 使用上のご注意 P.9
SD メモリーカード	SD メモリーカード microSD メモリーカード SDHC メモリーカード microSDHC メモリーカード	• [持ち出し用ファイル作成] の設定を [ON(SD メモリーカード)] にして録画した番組のみ書き出せます。 持ち出し用ファイル作成 P.69 • 1 番組につき最大 2GB まで書き出せます。 • 録画番組のファイル容量に加えて、10MB 以上の空き容量が必要です。 • 著作権保護機能に対応したカードリーダーライターが必要です。 • SDXC には対応していません。
メモリースティック	Memory Stick PRO Memory Stick PRO Duo Memory Stick PRO-HG Duo Memory Stick Micro	• [持ち出し用ファイル作成] の設定を [ON(メモリースティック /PSP/ ウォークマン)] にして録画した番組のみ書き出せます。 持ち出し用ファイル作成 P.69 • 1 番組につき最大 6.5 時間まで書き出せます。 • 著作権保護機能に対応したカードリーダーライターが必要です。
EMPR 対応機器	ウォークマン、PSP など	• [持ち出し用ファイル作成] の設定を [ON(メモリースティック /PSP/ ウォークマン)] にして録画した番組のみ書き出せます。 持ち出し用ファイル作成 P.69 • 1 番組につき最大 6.5 時間まで書き出せます。 • 使用する機器が EMPR に対応している必要があります。

※記録済みの DVD-R、および、書き込み保護が設定されている DVD-RAM と BD-RE は使用できません。
※BD-R はフォーマットできませんが、StationTV X やレコーダーで記録したディスクの場合は追記できます。
※使用するディスクの書き込みに対応したディスクドライブを使用してください。
※BS デジタル放送および 110 度 CS デジタル放送のラジオ番組や独立データ放送は記録されません。
※SD メモリーカード、メモリースティック、EMPR 対応機器はフォーマットできません。
※すべてのカードリーダーでの動作を保証するものではありません。

EMPR とは？

著作権保護のために暗号化された映像の規格です。EMPR に対応している機器では、デジタル放送の録画番組を転送して再生することができます。

書き出すときの画質と容量のめやす

■ DVD-R、DVD-RW、DVD-RAM の場合

録画したときの画質	画質	1 時間あたりの容量の目安
DR(最高画質)	XP(高画質)	約 3.7GB
	SP(標準)	約 1.9GB
	LP(長時間)	約 950MB
	ぴったり	*1
HX(高画質)	HX(高画質)	約 4GB
HS(長時間)	HS(長時間)	約 2GB
HL(超長時間)	HL(超長時間)	約 1.1GB

*1 ディスクの空き容量の範囲内で記録できる最高画質になるため、ディスクの空き容量によって異なります。最高で XP、最低で LP の画質となります。

■ BD-R、BD-RE の場合

録画したときの画質	画質	1 時間あたりの容量の目安
DR(最高画質)	DR(最高画質)	*2
HX(高画質)	HX(高画質)	約 4GB
HS(長時間)	HS(長時間)	約 2GB
HL(超長時間)	HL(超長時間)	約 1.1GB

*2 放送波によって容量の目安が異なります。
- BS/110 度 CS デジタルハイビジョンテレビ放送 : 約 10.5GB
- BS/110 度 CS 標準テレビ放送 : 約 4.8GB
- 地上デジタルハイビジョンテレビ放送 : 約 7.5GB
- 地上デジタル標準テレビ放送 : 約 3.5GB

※ DVD あるいは BD に「HX(高画質)」「HS(長時間)」「HL(超長時間)」を書き出す場合は、データ放送を録画するかどうかによって、容量が異なります。

「データ放送保存」設定 P.69

■ SD メモリーカードの場合

録画したときの画質	画質	1 時間あたりの容量の目安
DR(最高画質)	画質モードの設定はありません。	約 280MB
HX(高画質)		
HS(長時間)		
HL(超長時間)		

※ 1 番組につき最大 2GB まで書き出せます。

■ メモリースティック、EMPR 対応機器の場合

録画したときの画質	画質	1 時間あたりの容量の目安
DR(最高画質)	画質モードの設定はありません。	約 220MB
HX(高画質)		
HS(長時間)		
HL(超長時間)		

※ 1 番組につき最大 6.5 時間まで書き出せます。

※ SD メモリーカード、メモリースティック、EMPR 対応機器には、データ放送や字幕は書き出されません。

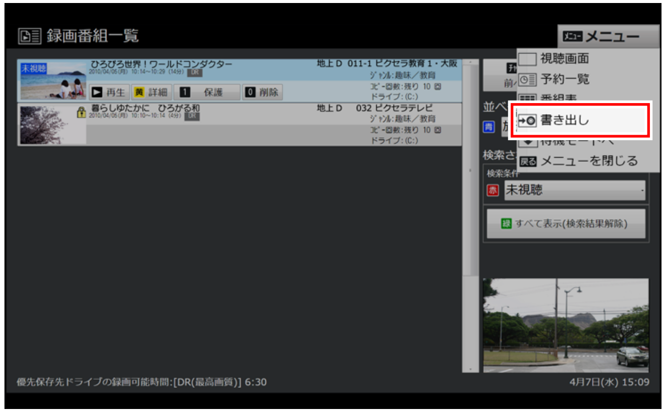
書き出し

録画番組をメディアに書き出すことができます。番組によっては、コピー制限などによって書き出せない場合があります。書き出しの前に「書き出しの前に確認しよう」(P.58)をお読みください。
この機能は、マウスで操作します。

録画番組を書き出す

マウス操作

① [メニュー] をクリックし、[録画番組一覧] を選択します。



② [メニュー] をクリックし、[書き出し] を選択します。

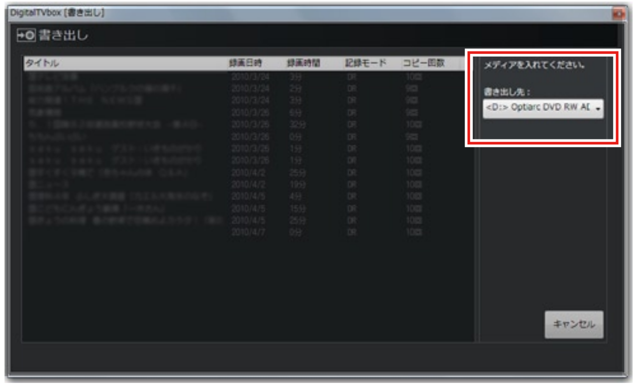
➡「マウスでの操作に切り換えます。よろしいですか？」というメッセージが表示されます。

③ [はい] をクリックします。

➡[書き出し] 画面が表示されます。

④ 書き出し先のメディアをセットします。

右表を参考に、使用できるメディアをパソコンにセットしてください。SD メモリーカード、メモリースティック、EMPR 対応機器を使用する場合はカードリーダーや USB ケーブルなどで接続してください。



⑤ 書き出し先を選びます。

ディスクを使用する場合は、パソコンにディスクをセットしてください。

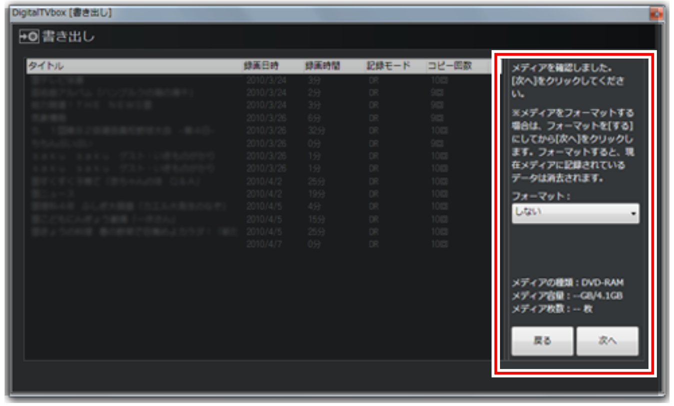
使用できるメディアの種類	
DVD ディスク	DVD-R(SL, DL) DVD-RW DVD-RAM
ブルーレイディスク	BD-R(SL, DL) BD-RE(SL, DL)
SD メモリーカード	SD メモリーカード microSD メモリーカード SDHC メモリーカード microSDHC メモリーカード
メモリースティック	Memory Stick PRO Memory Stick PRO Duo Memory Stick PRO-HG Duo Memory Stick Micro
EMPR 対応機器	ウォークマンなど

※使用するメディアによって書き出しの条件があります。

対応メディア　P.59

※SD メモリーカード、メモリースティック、EMPR 対応機器に書き出す場合は、事前に [持ち出し用ファイル作成] の設定を ON にして録画した番組のみ書き出せます。

持ち出し用ファイル作成　P.69

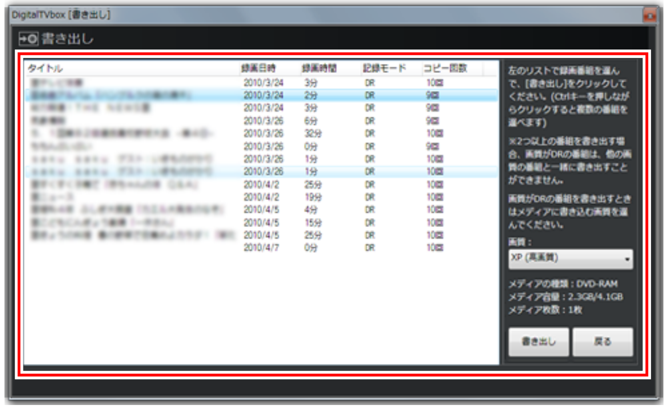


⑥ 書き出し先のメディアをセットします。

手順④で選択したメディアをパソコンにセットしてください。SD メモリーカード、メモリースティック、EMPR 対応機器を使用する場合はカードリーダーや USB ケーブルなどで接続してください。

⑦ [次へ] をクリックします。

書き換え可能ディスクを使用している場合は、フォーマットの [する] ／ [しない] を選んでから [次へ] をクリックしてください。



⑧ 書き出す番組をクリックします。

- [Ctrl] キーを押しながらクリックすることで、複数の番組を選ぶことができます。
- 画質が [DR] の番組を DVD ディスクを使用して書き出すときは、「書き出すときの画質と容量のめやす」P.60 を参考にディスクに書き出す画質を選んでください。

※2 つ以上の番組を DVD ディスクに書き出す場合、画質を [DR] で録画した番組と、他の画質の番組を一緒に書き出すことはできません。

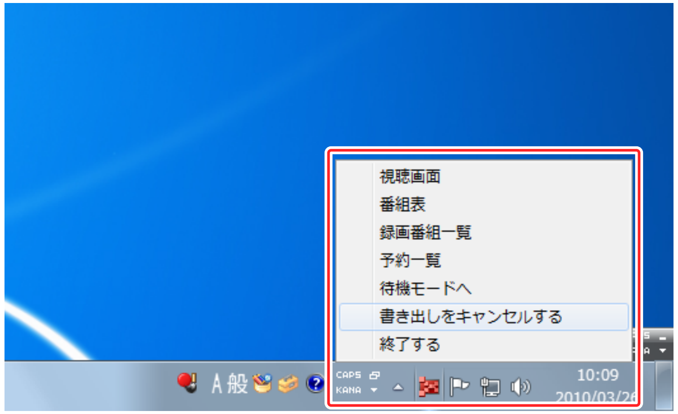
※SD メモリーカードは 1 番組につき最大 2GB まで、メモリースティックと EMPR 対応機器では最大 6.5 時間まで書き出せます。書き出そうとする番組が最大値を超える場合は、最大値に達するまでの内容が書き出されます。

⑨ [書き出し] をクリックします。

➡書き出しが開始されます。書き出しが完了すると、タスクトレイにメッセージが表示されます。

※ディスクを使用する場合、2 枚以上必要なときは 1 枚目の書き出し完了後に表示されるメッセージにしたがって操作してください。

書き出しをキャンセルする



① 書き出し中にタスクトレイのアイコンを右クリックします。

➡メニューが表示されます。

② [書き出しをキャンセルする] を選びます。

➡書き出しがキャンセルされます。

録画・書き出し中は、ログオフ・再起動・シャットダウンをしないでください。録画・書き出しに失敗する場合があります。

設定

くわしく知りたい項目をクリックすると、説明ページにジャンプします。

設定画面について

StationTV X で使用する項目で、よく使う設定を最初に表示させることができます。

StationTV X の設定は、メニュー画面の [設定] から行います。この機能はすべてマウス操作になります。

表示方法

マウス操作

① [メニュー] をクリックします。

② [設定] を選びます。

➡設定画面が表示されます。

目次

かんたん設定
かんたん設定 64

テレビ設定
地域 / チャンネルスキャン 65
チューナー / アンテナ 65
リモコンボタン割り当て 65

視聴設定
字幕 66
文字スーパー 66
音声出力 66
映像表示 67

録画・再生設定
再生 68
保存先ドライブ 68
録画 69

データ放送設定
視聴地域 70
自動取得 / 表示 70

詳細設定
受信機 71
視聴制限 71
番組表 71
通信 72

お知らせ
放送メール 73
CS ボード 73
受信機メッセージ 73

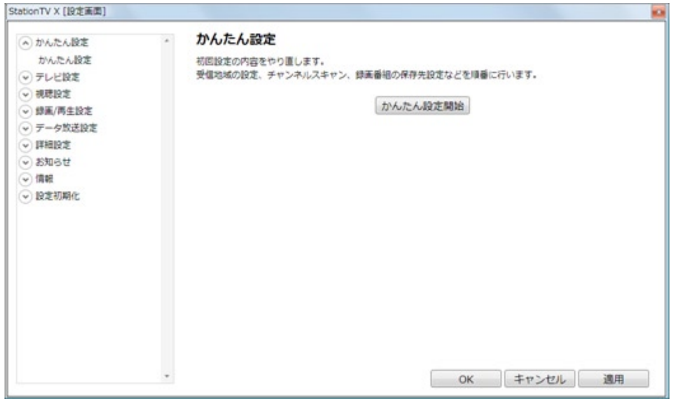
情報
B-CAS カード 74
バージョン 74

設定初期化
設定初期化 75

かんたん設定

「かんたん設定」では、初回設定の手順をもう一度行うことができます。

かんたん設定



初回設定の手順をもう一度行うことができます。

以下の項目を設定します。

- 視聴地域
- チューナー / アンテナ
- 地域 / チャンネルスキャン
- 保存先ドライブ
- 録画

マウス操作

① [かんたん設定開始] をクリックします。

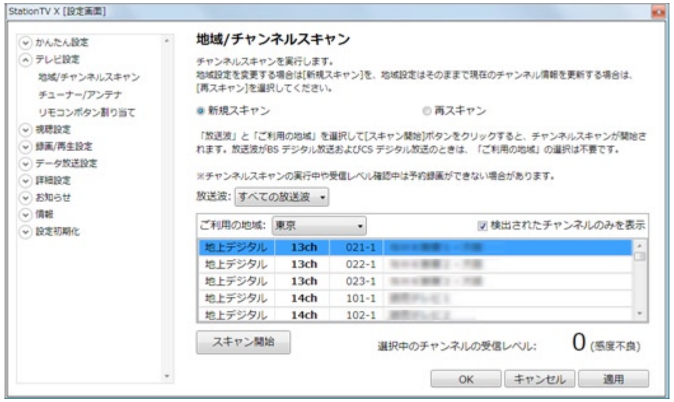
➡[かんたん設定] が開始されます。

初回設定　P.15

テレビ設定

チャンネルのスキャン、アンテナ電源の設定、リモコンボタンの割り当てができます。

地域 / チャンネルスキャン



チャンネルスキャンをすることで、チャンネル情報を最新の状態にすることができます。引越しなどで受信する地域が変わったときなどに行います。

また、チャンネルを選択すると、そのチャンネルの受信レベルも表示されます。

■ 新規スキャン

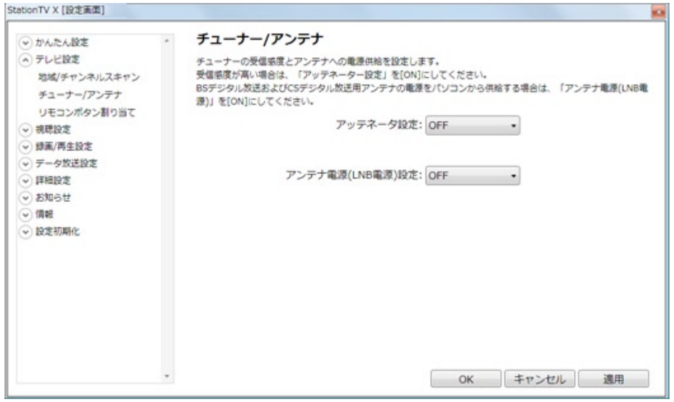
現在のチャンネルリストを破棄して、新たにチャンネルリストを作成します。

■ 再スキャン

現在のチャンネルリストに、新たに検知されたチャンネルを選局可能チャンネルとして追加します。

項目	機能
放送波	【すべて】
	地上デジタル、BS、CS のすべての放送波をスキャンします。
	【地上デジタル】
	地上デジタルのチャンネルスキャンをします。
	【BS】
	BS デジタルのチャンネルスキャンをします。
	【CS】
	CS デジタルのチャンネルスキャンをします。

チューナー / アンテナ



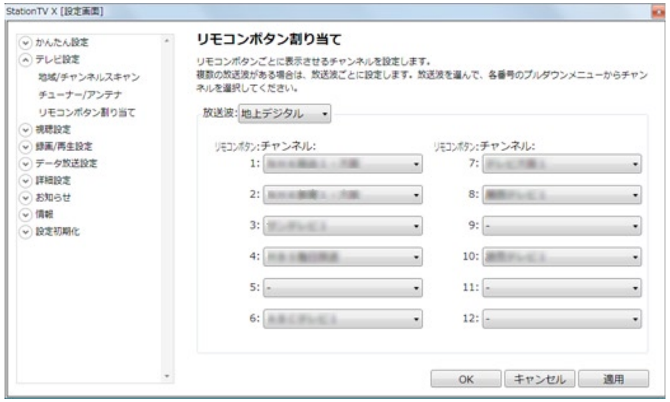
チューナーとアンテナの設定をします。

受信強度の設定と、BSデジタル放送 /110 度CSデジタル放送用対応機種をお使いの場合、アンテナ電源の ON/OFF を設定できます。

※ お使いの機種によっては設定項目の全部または一部を設定できない場合があります。

項目	機能
アッテネータ設定	テレビ放送は受信強度が強すぎても正常に映らない場合があります。このような場合に受信感度を抑えることができます。
	【ON】
	受信強度を抑えて受信します。
	【OFF】
	そのままの受信強度で受信します。
アンテナ電源設定	衛星放送のチューナーに電源を供給するかどうかを設定します。
	【ON】
	StationTV X の起動中はアンテナに電源を供給します。
	【OFF】
	アンテナに電源を供給しません。

リモコンボタン割り当て



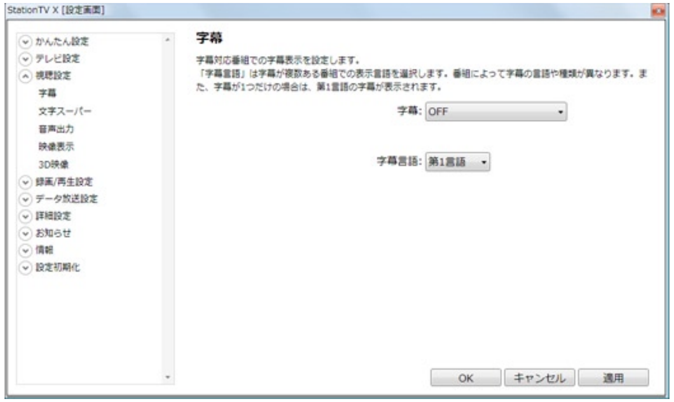
リモコンボタンと対応するチャンネルの設定を変更します。

リモコンボタンの番号に、割り当てたいチャンネルをリストから選択してください。

視聴設定

映像、音声、字幕などの設定ができます。

字幕



字幕の表示や言語の初期設定をします。

設定した内容がすべての番組に適用されます。

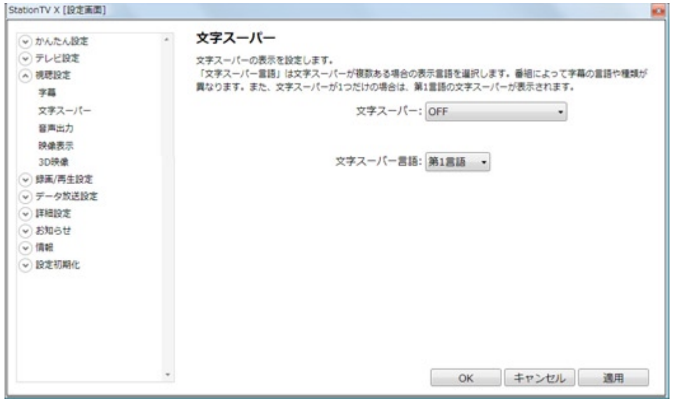
項目	機能
字幕	【ON】
	字幕対応番組では常に表示します。
	【OFF】
	表示しません。
字幕言語	番組が複数の字幕表示に対応している場合に、表示する字幕を選択します。字幕の種類は番組によって異なります。
	【第一言語】【第二言語】
	※第二言語がない番組では、第一言語の字幕が表示されます。

字幕と文字スーパーの違い

字幕は、番組内の音声を字幕として表示します。

文字スーパーは、ニュース速報や気象警報など、番組とは関係なく表示される情報です。

文字スーパー

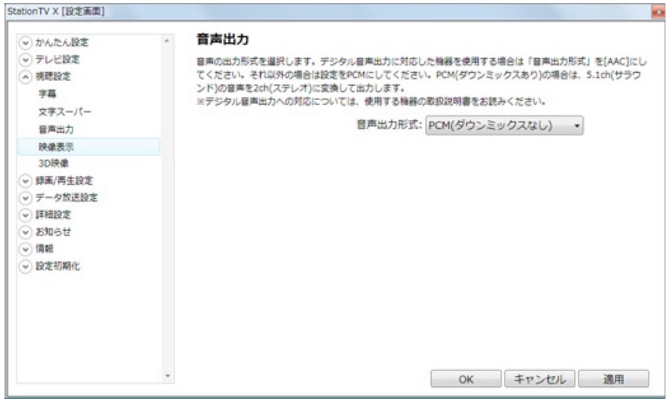


文字スーパーの表示や言語の初期設定をします。

設定した内容がすべての番組に適用されます。

項目	機能
文字スーパー	【ON】
	文字スーパー対応番組では常に表示します。
	【OFF】
	表示しません。
文字スーパー言語	番組が複数の文字スーパー表示に対応している場合に、表示する文字スーパーを選択します。 文字スーパーの種類は番組によって異なります。
	【第一言語】【第二言語】
	※第二言語がない番組では、第一言語の文字スーパーが表示されます。

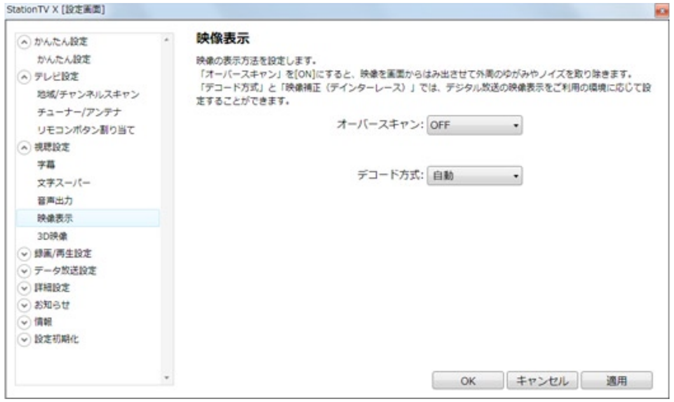
音声出力



音声の出力方法の設定をします。

項目	機能
音声出力形式	【AAC】
	音声形式を AAC 形式にして出力します。
	※AAC 形式の音声出力に対応した機器を接続している場合のみ選択できます。
	※サンプリング周波数が 32kHz の音声は PCM 形式で出力されます。
	【PCM(ダウンミックスあり)】
	音声形式を PCM 形式にして出力します。 5.1ch(サラウンド)の音声を 2ch(ステレオ)に変換して出力します。
	【PCM(ダウンミックスなし)】
	音声形式を PCM 形式にして出力します。 5.1ch(サラウンド)の音声をそのまま出力します。

映像表示



通常、テレビの映像は外周にゆがみやノイズが発生するため、外周部分を画面からはみ出させて表示しないように処理されています。画面からはみ出ている映像の割合をオーバースキャン率といいます。

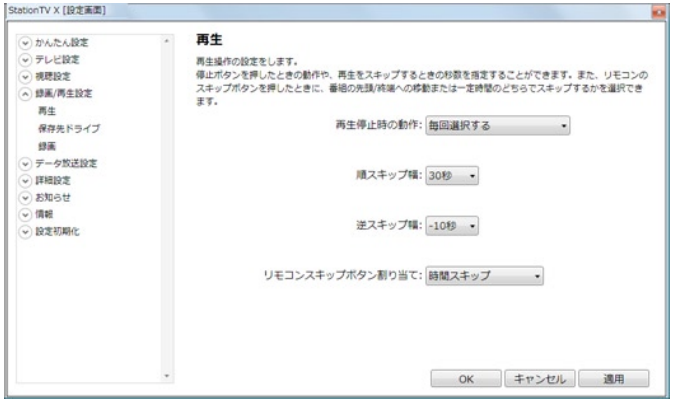
デコード方式では、映像のデコード方式を設定します。ご使用のグラフィックスによって、表示される映像に差異が出る場合に設定を切り換えてください。

項目	機能
オーバースキャン	【ON(5%)】 受信した映像の上下左右 2.5%を、画面上からはみ出させて表示します。 ※拡大処理による乱れやノイズが出る場合があります。
	【OFF】 受信した映像全体を画面上に表示します。 ※放送された映像自体に、端のゆがみやノイズがある場合はそのまま表示されます。
デコード方式	【自動】 ハードウェア→ソフトウェアの順で自動で設定します。
	【ハードウェア(DXVA)】 グラフィックスの再生支援機能を利用して映像をデコードします。 ※アナログ RGB モニタを接続している場合は、別の設定に切り換えてください。
	【ソフトウェア】 グラフィックスの再生支援機能を利用せず、ソフトウェアでデコードします。 ※アナログ RGB モニタを接続している場合は、自動でダウンスケールされ 52 万画素以下で出力されます。
	【 ソフトウェア(ダウンスケール)】 ソフトウェアでデコードし、ダウンスケールして映像を出力します。 ※ダウンスケールされた映像は 52 万画素以下で出力されます。

録画・再生設定

再生時の設定や録画ファイルの保存先を設定します。

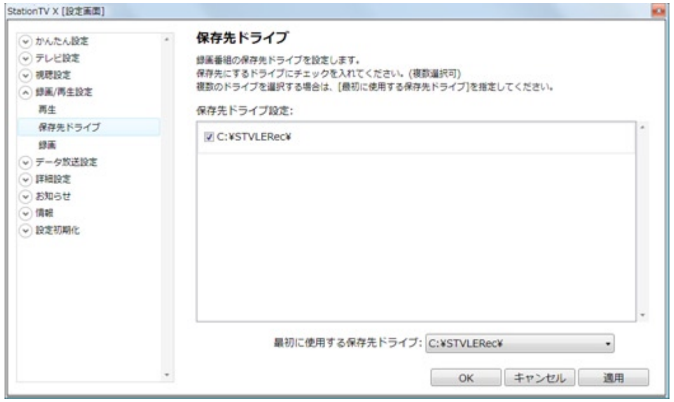
再生



再生時の操作について設定します。

項目	機能
再生停止時の動作	【毎回選択する】 再生を停止したときに、下記の項目が表示されます。 • つづきから再生する / もう一度再生する • 録画番組一覧を表示する • この番組を削除する • テレビを見る 【テレビを見る】 再生を停止すると、視聴画面に切り換わります。 【録画番組一覧を表示する】 再生を停止すると、録画番組一覧画面に切り換わります。
順スキップ幅	【10 秒 /15 秒 /30 秒 /60 秒】 順スキップの時間を設定します。
逆スキップ幅	【-5 秒 /-10 秒 /-15 秒 /-30 秒】 逆スキップの時間を設定します。
リモコンスキップボタン割り当て	【番組の先頭 / 終端へ】 先頭または終端にスキップします。 【時間スキップ】 【順スキップ幅】と【逆スキップ幅】で設定した時間でスキップします。

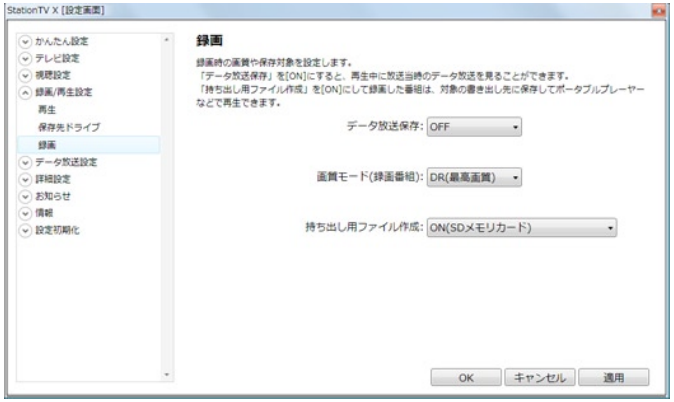
保存先ドライブ



録画番組の保存先ドライブを指定します。

録画番組が保存されているドライブのチェックをはずすと、録画番組が削除されます。

録画



録画するときに、データ放送を保存するかどうか設定します。また、画質モードも設定できます。

項目	機能
データ放送保存	【ON】 録画時にデータ放送を記録します。録画番組の再生時にデータ放送を表示することができます。 ※双方向サービスを除きます。 【OFF】 録画時にデータ放送を記録しません。 再生、書き出し時にデータ放送を表示することはできません。
画質モード	【DR(最高画質)】 ディスクへの書き出し時に、放送された画質のまま録画します。 最も良い画質です。 【HX(高画質)/HS(長時間)/HL(超長時間)】 ディスクへの書き出し時に、映像を圧縮して録画します。 ※画質の良さは、「高画質」「長時間」「超長時間」の順番となります。ただし、画質が良いほど、録画可能時間が短くなります。 ※複数の映像が含まれる番組の場合、[映像 1] の映像だけが記録されます。
持ち出し用ファイル作成	【ON(SD メモリーカード)】 録画時に SD メモリーカードへの持ち出し用ファイルを作成します。 【ON(メモリースティック /PSP/ ウォークマン)】 録画時にメモリースティックやウォークマン、PSP「プレイステーション・ポータブル」などへの持ち出し用ファイルを作成します。 【OFF】 持ち出し用のファイルを作成しません。

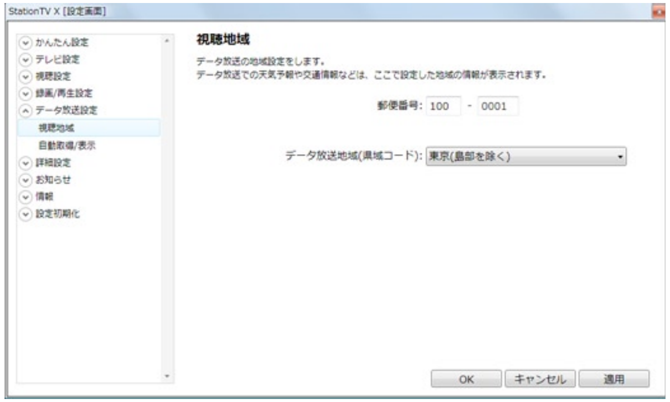
持ち出し用ファイルについて

設定を ON にして録画した番組は、持ち出し先に転送に加え、通常通り、StationTV X 上で再生やディスク作成ができます。コピー回数は持ち出し先に転送した場合でも 1 回減るので注意してください。

データ放送設定

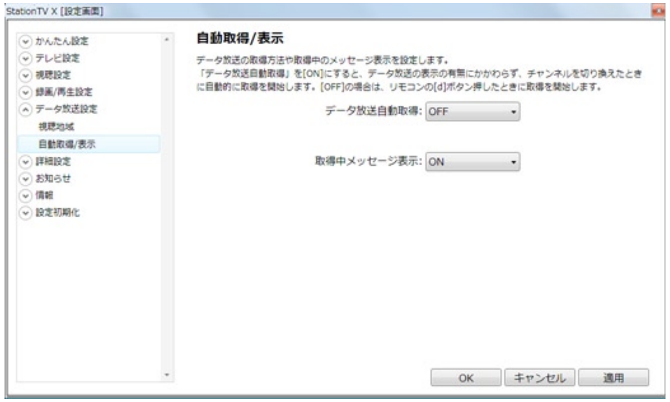
データ放送に必要な情報の登録や、データ放送に関する設定ができます。

視聴地域



データ放送の地域の設定をします。

自動取得 / 表示



データ放送に関する情報を自動的に取得します。

項目	機能
データ放送自動取得	【ON】 データ放送を含む番組の表示中に自動的にデータ放送を取得します。
	【OFF】 データ放送を含む番組表示中にデータ放送を取得しません。
取得中メッセージ表示	【ON】 データ放送の取得時に進捗状況のメッセージを表示します。
	【OFF】 データ放送の取得時に進捗状況のメッセージを表示しません。

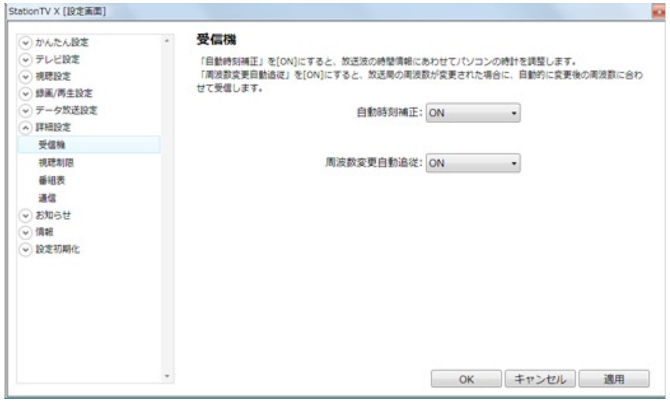
詳細設定

時刻、視聴年齢制限、お好みチャンネルなどの設定ができます。

トップへ

「設定」に戻る

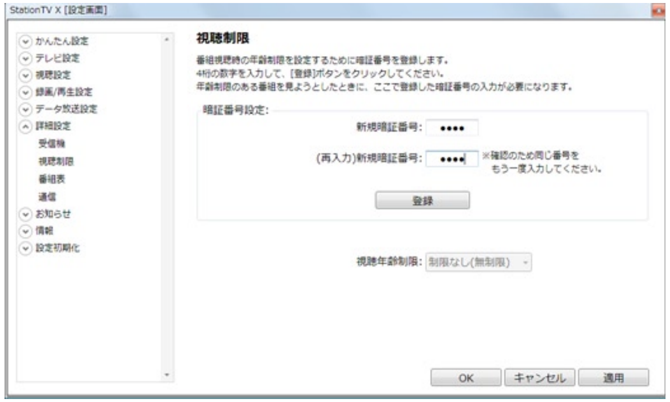
受信機



放送波に含まれている現在時刻の情報にあわせて、パソコンの時計の時刻を自動的に修正します。

項目	機能
自動時刻補正	放送波に含まれている現在時刻の情報にあわせて、パソコンの時計の時刻を自動的に修正します。 【ON】 自動時刻補正を行います。 【OFF】 自動時刻補正を行いません。
周波数変更自動追従	放送局の周波数が変更された場合、自動的に変更後の周波数にあわせて受信します。 【ON】 周波数の変更に追従します。 【OFF】 周波数の変更に追従しません。 ※周波数が変更された場合は、チャンネルスキャンする必要があります。

視聴制限



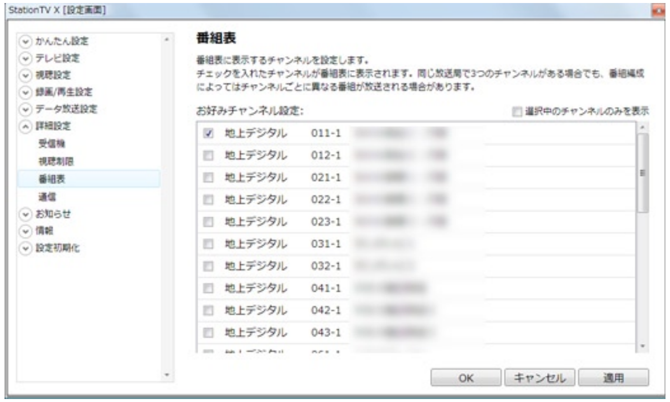
視聴年齢制限に該当する番組を視聴・再生しようとしたときに映像と音声を自動的に停止します。

※設定した年齢が番組の年齢制限よりも小さい場合、映像と音声の出力が停止され、暗証番号の入力を求められます。

※視聴年齢制限の対象番組でも録画はできます。ただし、再生時に暗証番号の入力が必要です。

項目	機能
暗証番号設定	暗証番号を４桁の数字で設定します。
視聴年齢制限	【年齢】 視聴を制限する年齢を設定します。 【制限なし】 視聴を制限する年齢を設定しません。

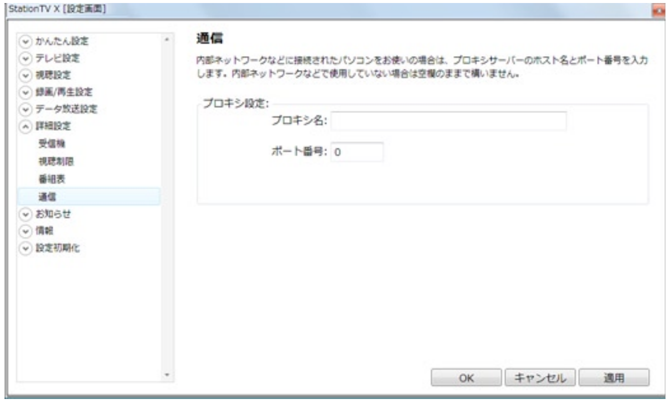
番組表



お好みチャンネルボタンを変更します。

「お好みチャンネル」とは、番組表で「お好み」を選択したときに、ここでチェックを入れたチャンネルだけを表示する機能です。

通信



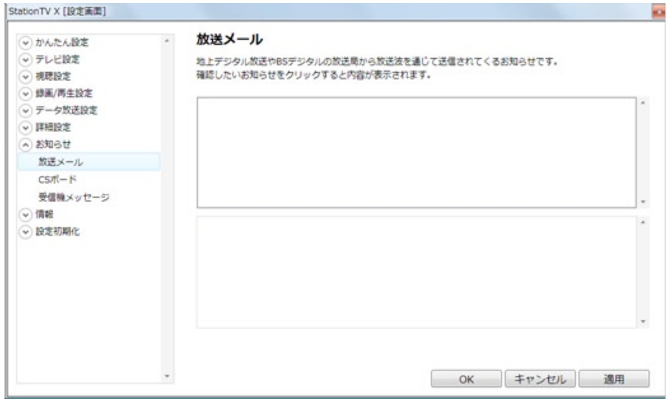
内部ネットワークなどに接続されたパソコンをお使いの場合に、プロキシサーバーのホスト名とポート番号を入力します。

項目	機能
プロキシ設定	【ホスト名】 プロキシサーバーのホスト名を入力します。 【ポート番号】 プロキシサーバーのポート番号を入力します。

お知らせ

機器およびソフトウェアの情報や、放送局からのお知らせを確認することができます。

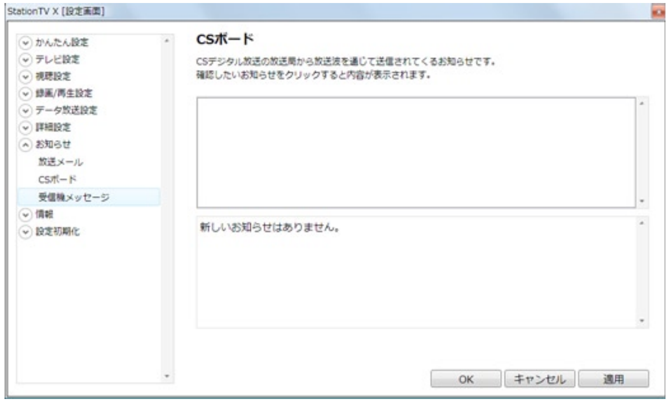
放送メール



放送波には放送局からのお知らせ情報が含まれており、Eメールのような形式で確認できます。

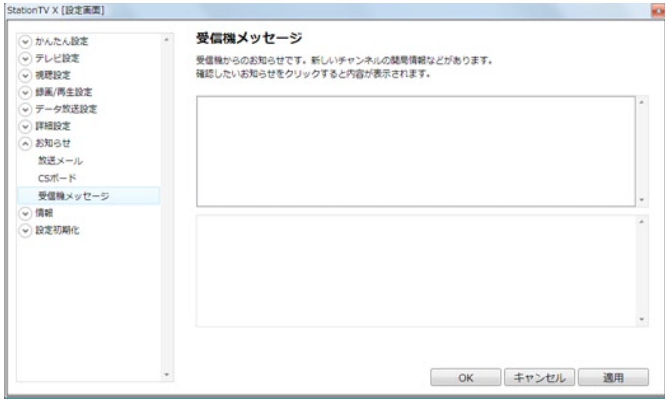
※受信から30日以上経過したお知らせは、未読･既読にかかわらず自動的に削除されます。

CSボード



110度CSデジタル放送の各局で取得した掲示板の情報をEメールのような形式で確認できます。

受信機メッセージ

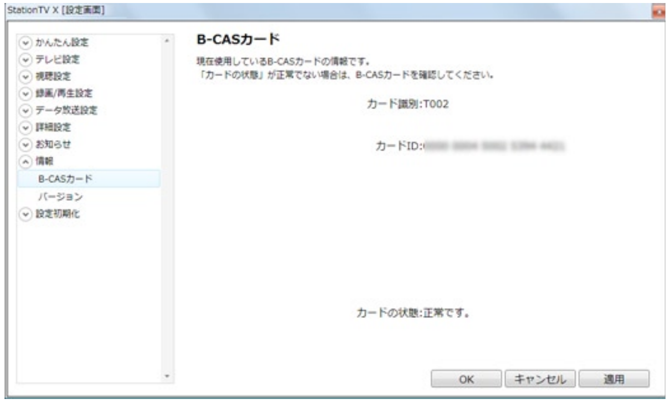


新しいチャンネルが追加された場合など、受信機が受け取った情報をEメールのような形式で確認できます。

情報

B-CAS カードの状態や、ソフトウェアのバージョン情報などが確認できます。

B-CAS カード



使用中の B-CAS カード情報を表示します。「カードの状態」にエラーメッセージが表示される場合は、B-CAS カードに問題がある可能性があります。

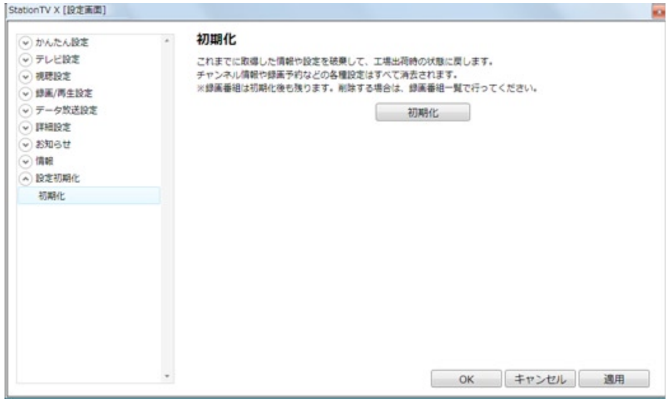
バージョン

StationTV X のバージョン情報を表示します。

設定初期化

StationTV X を工場出荷時の状態に戻します。

設定初期化



StationTV X を工場出荷時の状態に戻します。また、これまでに収集した個人情報は削除されます。

※録画番組は削除されません。

画面から調べる

くわしく知りたい項目をクリックすると、説明ページにジャンプします。

画面について

メニューパネル P.78 ～

各画面で を押すと表示されます。

※ 表示される項目は画面によって異なります。

視聴画面 P.77 ～

テレビを見る画面です。
視聴や再生時に表示されます。

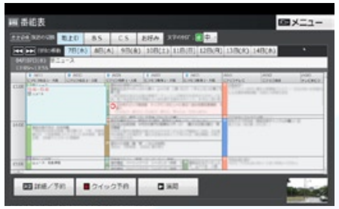
番組詳細情報画面 P.79 ～

各画面で [番組詳細] や [詳細] を選択すると表示されます。

※ 表示される項目は画面によって異なります

番組表画面 P.80 ～

を押すと表示されます。

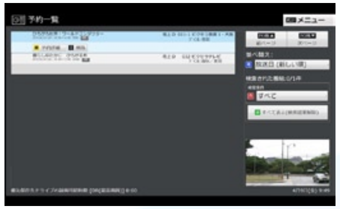


録画番組一覧画面 P.89 ～

を押すと表示されます。

予約一覧画面 P.85 ～

予約一覧画面を選択すると表示されます。



書き出し画面 P.93 ～

録画番組一覧画面で を押して、[書き出し] を選択すると表示されます。

目次

視聴画面
- 映像パネル 77
- メニューパネル 78
- 番組詳細情報 79

番組表画面
- 番組表 80
- 番組詳細情報／録画予約 81
- メニューパネル（番組表） 82
- 番組検索 83
- メニューパネル（番組検索） 84

予約一覧画面
- 予約一覧 85
- 検索パネル 86
- 番組詳細情報 87
- メニューパネル 88

録画番組一覧画面
- 録画番組一覧 89
- 検索パネル 90
- 詳細情報表示 91
- メニューパネル 92
- 書き出し 93

再生画面
- 映像パネル 94
- コントロールパネル 95
- 詳細情報表示 96

視聴画面

番組の映像が表示される画面です。StationTV X を起動すると表示されます。

映像パネル

■ リモコン優先表示

■ マウス優先表示

名称	機能	
番組情報	視聴中の番組について以下の情報が表示されます。 【番組名】【放送局ロゴ】【放送波】【チャンネル番号】【放送局名】	
テレビボタン	●	録画を開始します。
	●	録画中です。 録画オフタイマーを設定できます。 録画オフタイマー P.40
	■	録画を停止します。
	地上D	放送波を切り換えます。
	▼ ▲	チャンネルを昇順 / 降順で切り換えます。
	d	データ放送の画面を表示します。
メニュータブ	メニューパネルを表示します。 メニューパネル P.78	
コントロールパネル	(つまみ)	番組の総時間に対する、現在の場所です。
	(音声アイコン)	音声の出力を停止 / 再開します。
	− ＋	音量を調節します。
	(スライダー)	音量を調節します。

全画面表示に切り換える

マウス優先表示のときは、ボタン以外の場所をダブルクリックすると全画面表示に切り換わります。
元に戻すときは、もう一度画面をダブルクリックします。
※ メニュータブからも操作できます。

メニューパネル

視聴画面で を押すと表示されます。

名称	機能
録画番組一覧	録画番組の一覧を表示します。
予約一覧	予約番組の一覧を表示します。
番組表	番組表を表示します。
常に最前面表示	視聴画面を他のアプリケーションよりも前面に表示します。 ※ マウス優先表示でのみ表示されます。
表示切換	視聴画面のサイズを切り換えます。 画面表示を切り換える P.25
詳細	視聴している番組の詳細を表示します。
データ放送操作パネル	データ放送をマウスで操作するための画面を表示します。
字幕	字幕のオン / オフを切り換えます。
映像切換	番組に複数の映像が含まれている場合、映像を切り換えます。
音声切換	番組に複数の音声が含まれている場合、音声を切り換えます。
ズーム切換	視聴画面の大きさを変更します。 表示方法を切り換える P.26
設定	アンテナや字幕、録画、再生、データ放送などの設定を行います。
待機モードへ	StationTV X を待機モードにします。
メニューを閉じる（戻る）	メニューを閉じます。

番組詳細情報

視聴画面で メニュー を押して [番組詳細] を選択すると表示されます。

操作ボタン

名称		機能
戻る	戻る	視聴画面に戻ります。

番組の詳細項目

名称	内容
番組名	番組の名称です。
番組内容説明	番組の詳細内容です。
放送波	番組の放送波です。
チャンネル	番組のチャンネルです。
放送局名	番組の放送局です。
開始／終了時刻	番組の開始／終了日時です。
番組時間	番組全体の時間です。
ジャンル	番組のジャンルです。
映像情報	映像の解像度と画面比率(アスペクト比)です。
音声情報	音声の種別です。 【モノラル】【デュアルモノラル】【ステレオ】【5.1ch】 番組に複数の音声が含まれている場合は、音声ごとに表示されます。
字幕	字幕の種類です。 【第一言語】【第二言語】
コピー制御情報	番組のコピー制限です。 【録画可】【録画不可】 コピー制限 P.58
有料／無料	番組の有料／無料の区分です。
視聴年齢制限	番組の年齢制限です。制限がある場合はその年齢が表示されます。

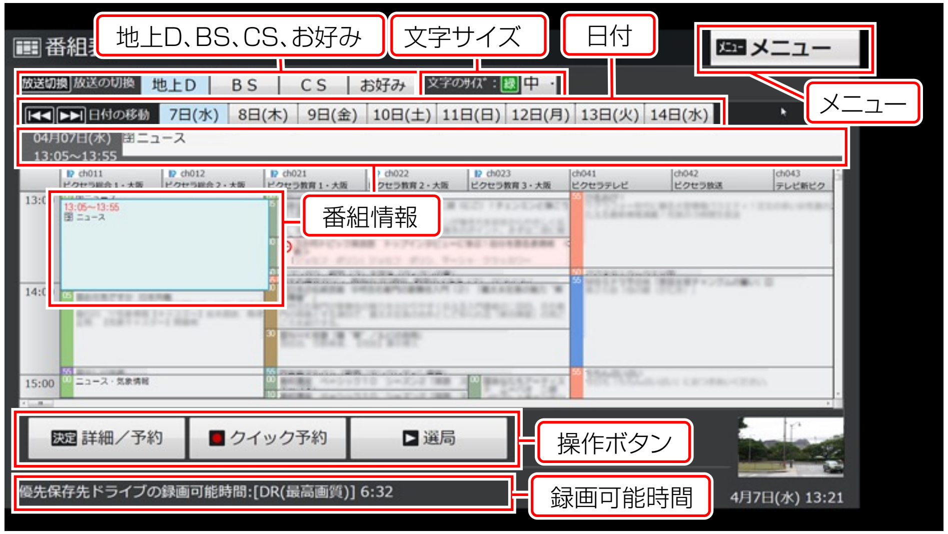
番組表画面

番組表の画面です。メニューから［番組表］を選ぶことで表示されます。

番組表

（番組表ボタン）を押すと表示されます。

■リモコン優先表示



■操作ボタン

名称		機能
詳細／予約	OK	番組表で選択している番組についての詳細情報を表示します。 詳細情報の画面から録画予約を登録することもできます。 番組詳細情報　P.24
クイック予約	録画	番組表で選択している番組を録画予約します。
選局	再生	番組表で選択している番組のチャンネルに切り換えます。 ※番組が放送中の場合のみ表示されます。

名称		機能
メニュー	メニュー	メニューパネルを表示します。　メニューパネル（番組表）　P.82
地上Ｄ	放送波切換	地上デジタル放送の番組表を表示します。
BS	放送波切換	BS デジタル放送の番組表を表示します。
CS	放送波切換	110 度 CS デジタル放送の番組表を表示します。
お好み	放送波切換	設定したチャンネルだけ表示します。　メニューパネル（番組表）　P.82
文字サイズ	緑	番組表の表示を縮小／拡大します。
日付	前スキップ 次スキップ	番組表の日付を選択します。
番組情報		番組表で選択している番組について、以下の情報が表示されます。 【放送日時】【番組名】【番組詳細】
録画可能時間		設定している録画画質と、［最初に使用する保存先ドライブ］に設定しているドライブで録画できる残り時間が表示されます。

番組詳細情報／録画予約

番組表で番組を選んで [番組詳細] を押すと表示されます。

操作ボタン

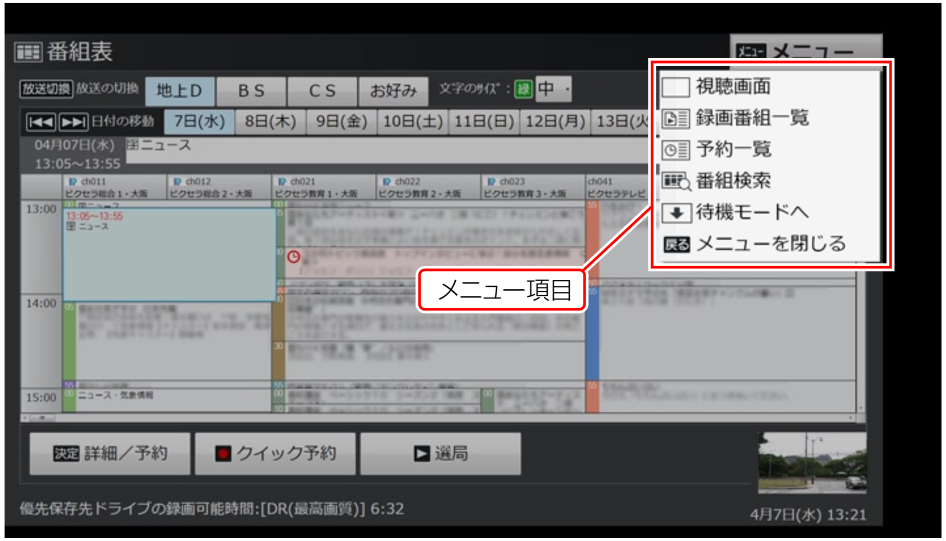
名称		機能
画質モード	青	録画の画質を設定します。
くりかえし	緑	同じ時間帯で毎週または連日録画する設定をします。
予約	録画	番組を録画予約します。
削除	わ/スペース 0	録画予約を削除します ※録画予約のみ表示されます。
選局	再生	番組表で選択している番組のチャンネルに切り換えます。 ※番組が放送中の場合のみ表示されます。
変更を適用	赤	録画予約の設定を変更します。 ※録画予約のみ表示されます。
戻る	戻る	番組表画面に戻ります。

番組の詳細項目

名称	機能
番組名	番組の名称です。
番組内容説明	番組の詳細内容です。
放送波	番組の放送波です。
チャンネル	番組のチャンネルです。
放送局名	番組の放送局です。
開始／終了時刻	番組の開始／終了日時です。
番組時間	番組全体の時間です。
ジャンル	番組のジャンルです。
映像情報	映像の解像度と画面比率（アスペクト比）です。
音声情報	音声の種別です。番組に複数の音声が含まれている場合は、音声ごとに表示されます。 【モノラル】【デュアルモノラル】【ステレオ】【5.1ch】
字幕	字幕の種類です。　【第一言語】【第二言語】
コピー制御情報	番組のコピー制限です。 【録画可】【録画不可】 コピー制限　P.58
有料／無料	番組の有料／無料の区分です。
視聴年齢制限	番組の年齢制限です。制限がある場合はその年齢が表示されます。

メニューパネル(番組表)

番組表で を押すと表示されます。

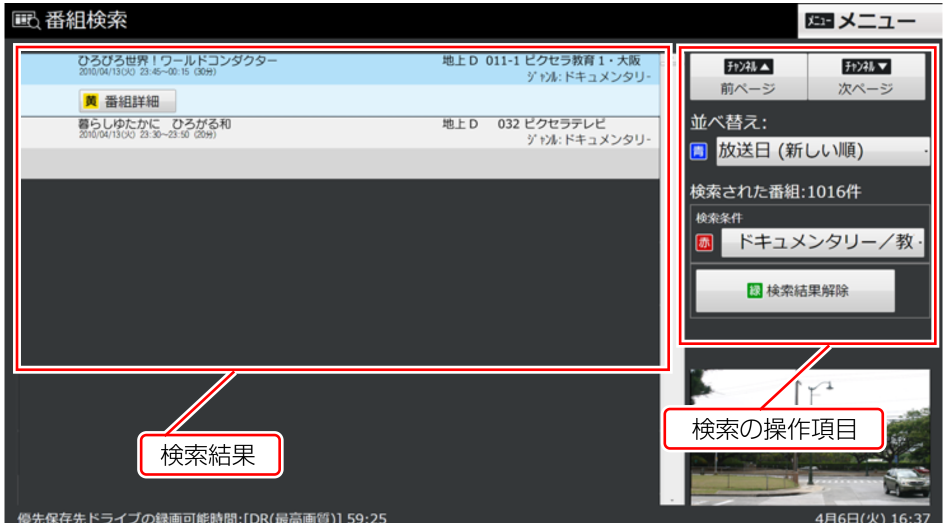


■ メニュー項目

名称		機能
視聴画面		視聴画面に移動します。
録画番組一覧		録画番組一覧に移動します。
予約一覧		予約一覧に移動します。
番組検索		番組検索画面に移動します。
待機モードへ		StationTV X を待機モードにします。
メニューを閉じる	戻る	メニューを閉じます。

番組検索

番組表で メニュー を押して、[番組検索] を選択すると表示されます。



■ 検索結果

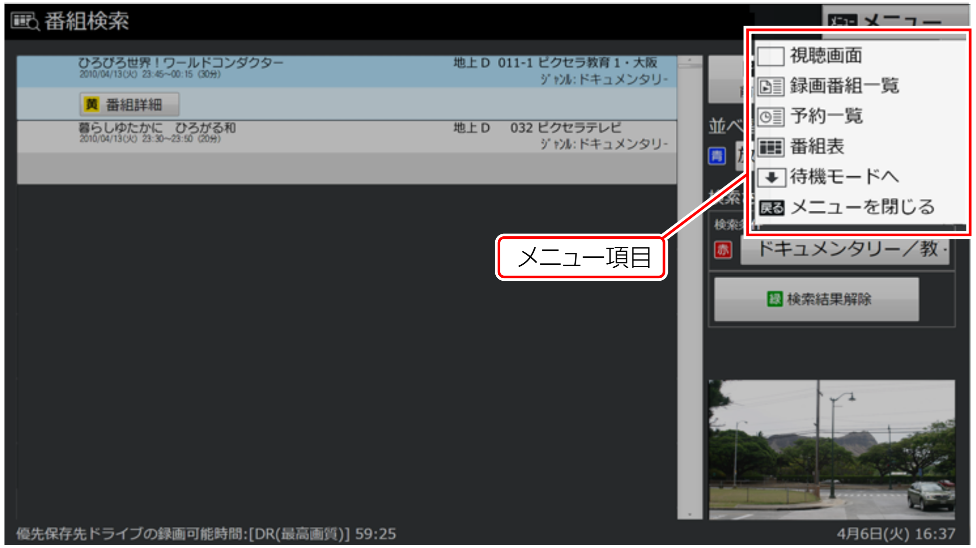
名称		機能
番組名		番組の名称です。
放送波		番組の放送波です。
チャンネル		番組のチャンネルです。
放送局名		番組の放送局です。
開始／終了時刻		番組の開始／終了日時です。
番組時間		番組全体の時間です。
ジャンル		番組のジャンルです。
番組詳細	黄	番組詳細画面に移動します。 番組詳細情報 P.79

■ 検索の操作項目

名称		機能
前 / 次ページ	チャンネル	画面左の一覧ページを切り換えます。
並べ替え	青	画面左の一覧を並べ換えます。 【放送日（新しい順）】【放送日（古い順）】【タイトル（昇順）】【タイトル（降順）】
検索条件	赤	条件を指定して検索します。 【指定なし】【ジャンル】
検索結果解除	緑	検索結果を解除して、すべての録画番組を一覧ページに表示します。

メニューパネル（番組検索）

番組検索で（メニュー）を押すと表示されます。



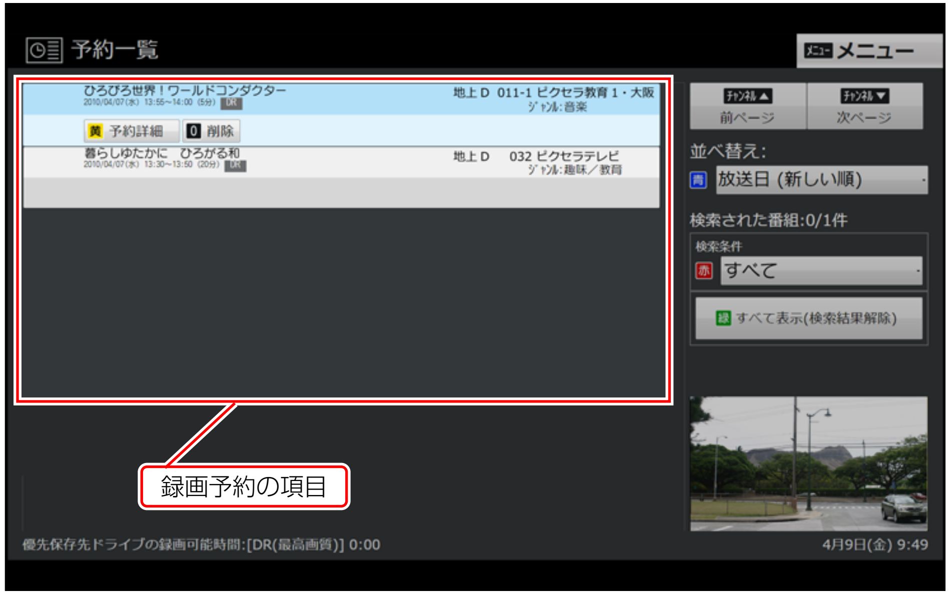
メニュー項目

名称		機能
視聴画面		視聴画面に移動します。
録画番組一覧		録画番組一覧に移動します。
予約一覧		予約一覧に移動します。
番組表		番組表に移動します。
待機モードへ		StationTV X を待機モードにします。
メニューを閉じる	戻る	メニューを閉じます。

予約一覧画面

予約一覧

(メニュー)を押して、[予約一覧] を選択します。



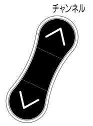
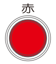
録画予約の項目

名称		機能
番組名		番組の名称です。
放送波		番組の放送波です。
チャンネル		番組のチャンネルです。
開始 / 終了日時		番組の開始／終了日時です。
番組時間		番組全体の時間です。
画質モード		録画時の画質です。 画質を変更する P.45
ジャンル		番組のジャンルです。
予約詳細	黄	予約詳細画面に移動します。
削除	わ/スペース 0	予約を削除します。

検索パネル

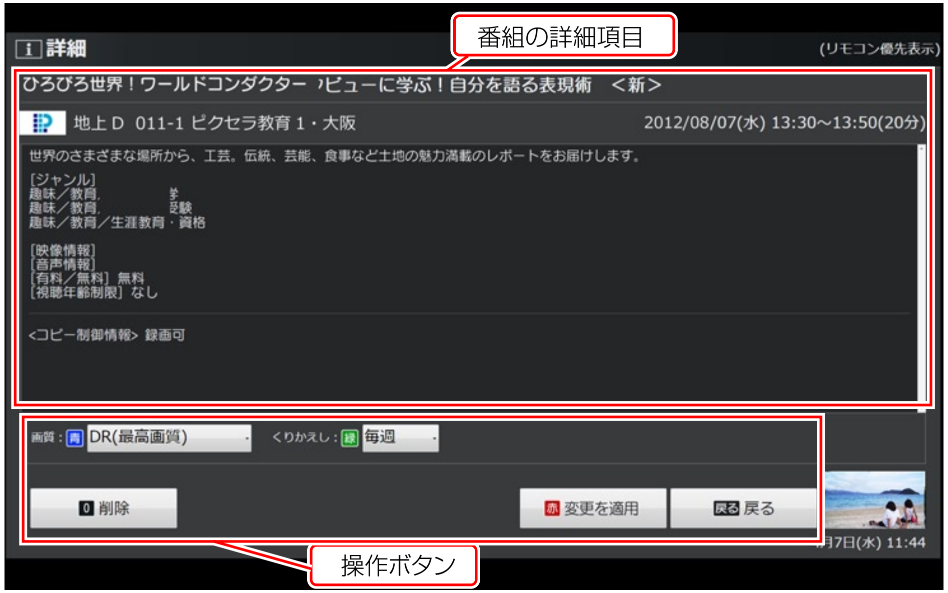
メニューを押して、[予約一覧] を選択します。

検索の操作項目

名称		機能
前 / 次ページ		画面左の一覧ページを切り換えます。
並べ替え		画面左の一覧を並べ換えます。 【放送日(新しい順)】【放送日(古い順)】【タイトル(昇順)】【タイトル(降順)】
検索条件		条件を指定して検索します。 【すべて】【ジャンル】【重複】
検索結果解除		検索結果を解除して、すべての録画番組を一覧ページに表示します。

番組詳細情報

予約一覧で予約を選んで [予約詳細] を押すと表示されます。



操作ボタン

名称		機能
画質モード	青	録画の画質を設定します。
くりかえし	緑	同じ時間帯で毎週または連日録画する設定をします。
削除	わ/スペース 0	録画予約を削除します
変更の適用	赤	録画予約の設定を変更します。
戻る	戻る	予約一覧画面に戻ります。

番組の詳細項目

名称	機能
番組名	番組の名称です。
番組内容説明	番組の詳細内容です。
放送波	番組の放送波です。
チャンネル	番組のチャンネルです。
放送局名	番組の放送局です。
開始／終了時刻	番組の開始／終了日時です。
番組時間	番組全体の時間です。
ジャンル	番組のジャンルです。
映像情報	映像の解像度と画面比率(アスペクト比)です。
音声情報	音声の種別です。　【モノラル】【デュアルモノラル】【ステレオ】【5.1ch】 番組に複数の音声が含まれている場合は、音声ごとに表示されます。
字幕	字幕の種類です。　【第一言語】【第二言語】
有料／無料	番組の有料／無料の区分です。
視聴年齢制限	番組の年齢制限です。制限がある場合はその年齢が表示されます。

予約一覧画面

メニューパネル

予約一覧で［メニュー］を押すと表示されます。

■ メニュー項目

名称		機能
視聴画面		視聴画面に移動します。
録画番組一覧		録画番組一覧に移動します。
番組表		番組表に移動します。
待機モードへ		StationTV X を待機モードにします。
メニューを閉じる	戻る	メニューを閉じます。

録画番組一覧画面

録画番組一覧

を押します。

※ リモコンにボタンがない場合は、を押して、[録画番組一覧] を選択します。

録画番組の項目

名称		機能
番組名		番組の名称です。
放送波		番組が放送された放送波です。
チャンネル		番組が放送されたチャンネルです。
開始 / 終了日時		番組の開始／終了日時です。
番組時間		番組全体の時間です。
画質モード		録画時の画質です。
ジャンル		番組のジャンルです。
再生	再生	番組を再生します。
詳細	黄	詳細画面に移動します。
保護 / 保護解除	あ 1	番組を保護します。 すでに保護されている場合は保護を解除します。
削除	わ/スペース 0	番組を削除します。
コピー回数		番組の残りコピー回数です。
保存先ドライブ		番組が保存されているドライブです。

検索パネル

を押します。

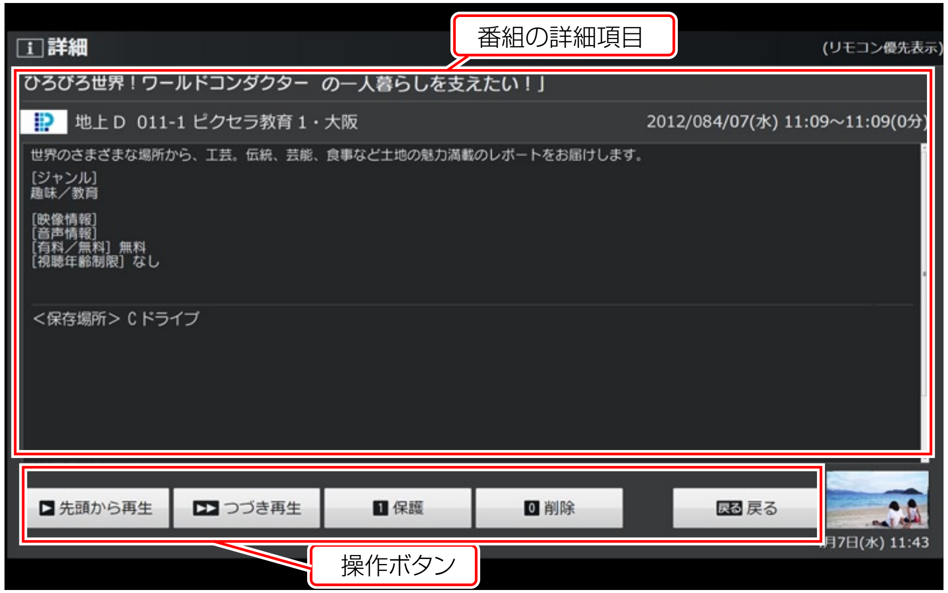
※ リモコンにボタンがない場合は、を押して、[録画番組一覧] を選択します。

検索の操作項目

名称		機能
前 / 次ページ		画面左の一覧ページを切り換えます。
並べ替え		画面左の一覧を並べ換えます。 【放送日（新しい順）】【放送日（古い順）】【タイトル（昇順）】【タイトル（降順）】
検索条件		条件を指定して検索します。 【すべて】【ジャンル】【未視聴】【保護】【中断】【中止】
すべて表示		検索結果を解除して、すべての録画番組を一覧ページに表示します。

詳細情報表示

録画番組一覧で番組を選んで [詳細] を押すと表示されます。



操作ボタン

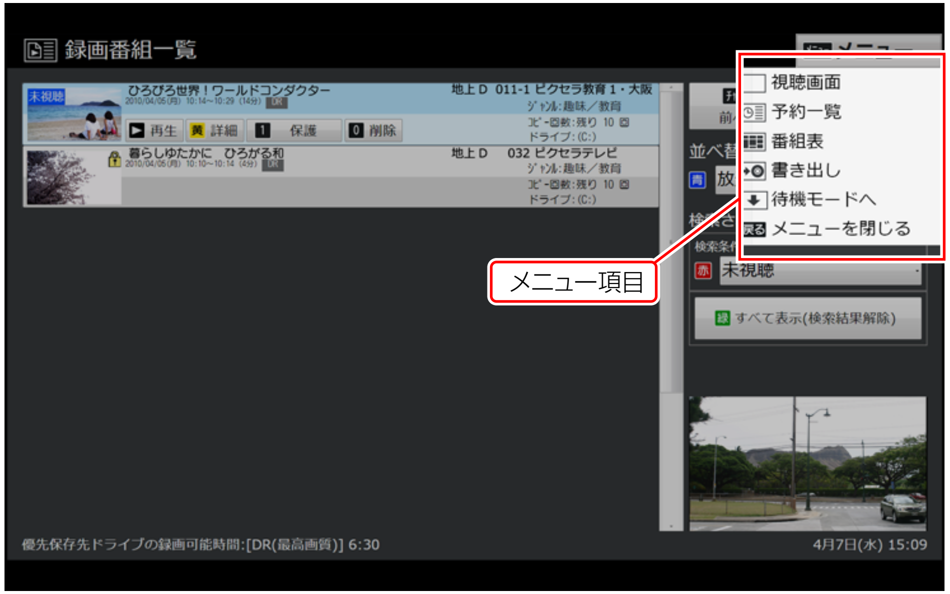
名称		機能
先頭から再生	再生	番組を先頭から再生します。
つづき再生	早送り	番組を前回停止した箇所から再生します。
保護／ 保護解除	あ 1	番組を保護します。 すでに保護されている場合は保護を解除します。
削除	わ/スペース 0	番組を録画一覧から削除します。
戻る	戻る	録画番組一覧画面に戻ります。

番組の詳細項目

名称	機能
番組名	番組の名称です。
番組内容説明	番組の詳細内容です。
放送波	番組が放送された放送波です。
チャンネル	番組が放送されたチャンネルです。
放送局名	番組が放送された放送局です。
開始／終了時刻	番組の開始／終了日時です。
番組時間	番組全体の時間です。
ジャンル	番組のジャンルです。
映像情報	映像の解像度と画面比率（アスペクト比）です。
音声情報	音声の種別です。　【モノラル】【デュアルモノラル】【ステレオ】【5.1ch】 番組に複数の音声が含まれている場合は、音声ごとに表示されます。
字幕	字幕の種類です。　【第一言語】【第二言語】
コピー制御情報	番組のコピー制限です。 【コピーフリー】【ダビング 10】【コピーワンス】　コピー制限　P.58
残コピー回数	コピー制限が【コピーワンス】【ダビング 10】の場合の残りコピー可能回数です。
有料／無料	番組の有料／無料の区分です。
視聴年齢制限	番組の年齢制限です。制限がある場合はその年齢が表示されます。
保存場所	番組が保存されているハードディスク名です。
録画種別	番組の録画方法です。　【手動録画】【番組表予約】
画質モード	録画の画質です。　【DR（最高画質）】【HX（高画質）】【HS（長時間）】【HL（超長時間）】
データ放送保存	データ放送の有無です。
録画結果	録画が中止・中断した場合、その結果と理由が表示されます。
イベントリレー	イベントリレーで録画された番組です。 ※ 対象番組のみ表示されます。　イベントリレー　P.9

メニューパネル

録画番組一覧でを押すと表示されます。

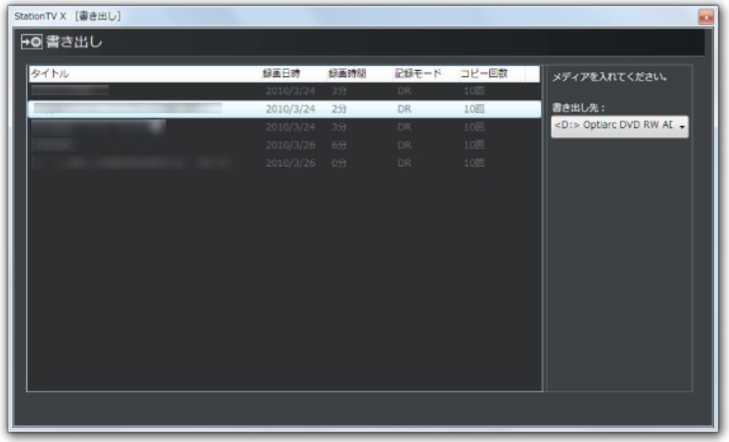


■ メニュー項目

名称		機能
視聴画面		視聴画面に移動します。
予約一覧		予約一覧に移動します。
番組表		番組表に移動します。
書き出し		DVD や BD などのメディアに録画番組を書き出します。
設定		設定画面を表示します。
待機モードへ		StationTV X を待機モードにします。
メニューを閉じる	戻る	メニューを閉じます。

書き出し

録画番組一覧で メニュー を押して、[書き出し] を選択すると表示されます。



名称	機能
録画番組一覧	録画番組の一覧を表示します。
書き出し先	書き出し先を選択します。

再生画面

録画番組の再生中に表示される画面です。

映像パネル

リモコン優先表示

マウス優先表示

名称	機能	
番組情報	視聴中の番組について以下の情報が表示されます。 【番組名】【放送波】【チャンネル番号】【放送局名】	
テレビボタン	d	データ放送の画面を表示します。
メニュータブ	メニューパネルを表示します。 メニューパネル P.78	
コントロールパネル	録画番組の再生操作を行います。 コントロールパネル P.95	

全画面表示に切り換える

マウス優先表示のときは、ボタン以外の場所をダブルクリックすると全画面表示に切り換わります。
元に戻すときは、もう一度画面をダブルクリックします。

コントロールパネル

再生中に表示されます。しばらくたつと消えます。

もう一度表示したいときは、以下で表示してください。

リモコン操作

表示

またはキーボードの [B] キーを押すと表示されます。

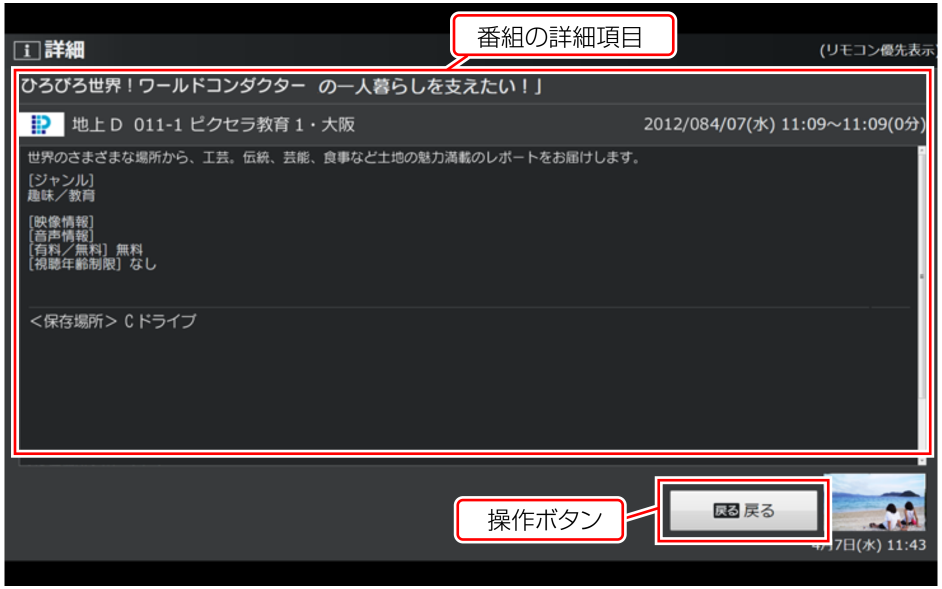
マウス操作

視聴画面を左クリック、またはキーボードの [B] キーを押すと表示されます。

名称		機能
経過時間		番組全体の時間に対する経過時間が表示されます。
番組時間		番組全体の時間が表示されます。
再生位置を移動		ドラッグすることで再生位置を変更します。
通常再生 ゆったり再生		停止中および一時停止中は再生を開始します。 再生中に押すことで、通常の0.8倍の速度で再生します（音声出力の設定が [PCM] の場合のみ）。 ゆったり / 早見再生　P.52
一時停止		再生を一時停止します。
停止		再生を停止します。
逆スキップ		指定した秒数を戻して再生します。 スキップ秒数の設定　P.68
順スキップ		指定した秒数を進めて再生します。 スキップ秒数の設定　P.68
早戻し		2 倍／ 10 倍／ 60 倍／ 120 倍の速度で早戻しします。 押すたびに速度が切り換わります。
早見再生 早送り		1.2 倍／ 1.5 倍／ 2 倍／ 1 0 倍／ 60 倍／ 120 倍の速度で早送りします。 押すたびに速度が切り換わります。1.2 倍～ 2 倍までの間は、音声も出力されます。 ※上記は、音声出力の設定が [PCM] の場合のみ有効です。[AAC] のときは 1.2 倍速と 1.5 倍速が利用できません。また、2 倍速のときに音声は出力されません。 ゆったり / 早見再生　P.52
先頭へ		番組の先頭へ移動します。
終端へ		番組の終端へ移動します。
消音		音声の出力を停止 / 再開します。
音量調節		ドラッグすることで音量を調節します。
		クリックすることで音量を調節します。

詳細情報表示

再生中に［メニュー］を押して [番組詳細] を選択すると表示されます。



■ 操作一覧

名称		機能
戻る	戻る	録画番組一覧画面に戻ります。

■ 項目内容

名称	機能
番組名	番組の名称です。
番組内容説明	番組の詳細内容です。
放送波	番組が放送された放送波です。
チャンネル	番組が放送されたチャンネルです。
放送局名	番組が放送された放送局です。
開始／終了時刻	番組の開始／終了日時です。
番組時間	番組全体の時間です。
ジャンル	番組のジャンルです。
映像情報	映像の解像度と画面比率（アスペクト比）です。
音声情報	音声の種別です。番組に複数の音声が含まれている場合は、音声ごとに表示されます。 【モノラル】【デュアルモノラル】【ステレオ】【5.1ch】
字幕	字幕の種類です。　【第一言語】【第二言語】
コピー制御情報	番組のコピー制限です。 【コピーフリー】【ダビング 10】【コピーワンス】 コピー制限　P.58
残コピー回数	コピー制限が【コピーワンス】【ダビング 10】の場合の残りコピー可能回数です。
有料／無料	番組の有料／無料の区分です。
視聴年齢制限	番組の年齢制限です。制限がある場合はその年齢が表示されます。
保存場所	番組が保存されているハードディスク名です。
画質モード	録画の画質です。　【DR（最高画質）】【HX（高画質）】【HS（長時間）】【HL（超長時間）】
データ放送保存	データ放送の有無です。
イベントリレー	イベントリレーで録画された番組です。 ※ 対象番組のみ表示されます。 イベントリレー　P.9

この製品は OpenSSL を使用しています。

LICENSE ISSUES

The OpenSSL toolkit stays under a dual license, i.e. both the conditions of the OpenSSL License and the original SSLeay license apply to the toolkit. See below for the actual license texts. Actually both licenses are BSD-style Open Source licenses. In case of any license issues related to OpenSSL please contact openssl-core@openssl.org.

OpenSSL License

Copyright (c) 1998-2008 The OpenSSL Project. All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.

2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.

3. All advertising materials mentioning features or use of this software must display the following acknowledgment: "This product includes software developed by the OpenSSL Project for use in the OpenSSL Toolkit. (http://www.openssl.org/)"

4. The names "OpenSSL Toolkit" and "OpenSSL Project" must not be used to endorse or promote products derived from this software without prior written permission. For written permission, please contact openssl-core@openssl.org.

5. Products derived from this software may not be called "OpenSSL" nor may "OpenSSL" appear in their names without prior written permission of the OpenSSL Project.

6. Redistributions of any form whatsoever must retain the following acknowledgment: "This product includes software developed by the OpenSSL Project for use in the OpenSSL Toolkit (http://www.openssl.org/)"

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE OpenSSL PROJECT ``AS IS'' AND ANY EXPRESSED OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE OpenSSL PROJECT OR ITS CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

This product includes cryptographic software written by Eric Young (eay@cryptsoft.com). This product includes software written by Tim Hudson (tjh@cryptsoft.com).

Original SSLeay License

Copyright (C) 1995-1998 Eric Young (eay@cryptsoft.com) All rights reserved.

This package is an SSL implementation written by Eric Young (eay@cryptsoft.com).The implementation was written so as to conform with Netscapes SSL.

This library is free for commercial and non-commercial use as long as the following conditions are aheared to. The following conditions apply to all code found in this distribution, be it the RC4, RSA, lhash, DES, etc., code; not just the SSL code. The SSL documentation included with this distribution is covered by the same copyright terms except that the holder is Tim Hudson (tjh@cryptsoft.com).

Copyright remains Eric Young's, and as such any Copyright notices in the code are not to be removed. If this package is used in a product, Eric Young should be given attribution as the author of the parts of the library used. This can be in the form of a textual message at program startup or in documentation (online or textual) provided with the package.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

1. Redistributions of source code must retain the copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.

2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.

3. All advertising materials mentioning features or use of this software must display the following acknowledgement:"This product includes cryptographic software written by Eric Young (eay@cryptsoft.com)" The word 'cryptographic' can be left out if the rouines from the library being used are not cryptographic related :-).

4. If you include any Windows specific code (or a derivative thereof) from the apps directory (application code) you must include an acknowledgement: "This product includes software written by Tim Hudson (tjh@cryptsoft.com)"

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY ERIC YOUNG ``AS IS'' AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE AUTHOR OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

The licence and distribution terms for any publically available version or derivative of this code cannot be changed. i.e. this code cannot simply be copied and put under another distribution licence [including the GNU Public Licence.]

この製品は "Embedded Memory with Playback and Recording Function System"（以下 "EMPR"）規格に準拠して製造されています。コンテンツ保護方式として "MagicGate Type-R for Secure Video for EMPR" を利用しています。

"EMPR" はソニー株式会社が開発した著作権保護に対応したシステムの規格名であり、"MagicGate Type-R for Secure Video Recording for EMPR" は Dpa（地上波デジタル推進協会）からデジタル放送記録時のコンテンツ保護形式として認可を得ています。

Copyright 1999,2000,2001,2002,2003,2004,2005,2006,2007,2008,2009 Sony Corporation

Copyright (c) 2001, Dr Brian Gladman <brg@gladman.me.uk>, Worcester, UK.

All rights reserved.

LICENSE TERMS

The free distribution and use of this software in both source and binary form is allowed (with or without changes) provided that:

1. distributions of this source code include the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer;

2. distributions in binary form include the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other associated materials;

3. the copyright holder's name is not used to endorse products built using this software without specific written permission.

DISCLAIMER

This software is provided 'as is' with no explicit or implied warranties in respect of its properties, including, but not limited to, correctness and fitness for purpose.

Issue Date: 29/07/2002

Copyright 1979, 1980, 1983, 1986, 1988, 1989, 1991, 1992, 1993, 1994

The Regents of the University of California. All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.

2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.

3. All advertising materials mentioning features or use of this software must display the following acknowledgement:

This product includes software developed by the University of California, Berkeley and its contributors.

4. Neither the name of the University nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE REGENTS AND CONTRIBUTORS ``AS IS'' AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED.

IN NO EVENT SHALL THE REGENTS OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION)

HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

Copyright (c) 1988,1989,1990,1991,1992 by Richard Outerbridge.

(GEnie : OUTER; CIS : [71755,204]) Graven Imagery, 1992.

本製品はフジフィルム製ソフトウェア「Exif Toolkit For Windows Ver.2.5（Copyright（C）1998-2004 FUJI PHOTO FILM. CO.,LTD.Allrights reserved)」を使用しています。Exif は JEITA（社団法人　電子情報技術産業協会）が規定するデジタルスチルカメラ用のイメージファイルフォーマット標準規格です。